

金融庁委託調査

---

**貸金業利用者に関する調査・研究**  
**<調査結果>**

2018年3月30日

株式会社インテージ

Create Consumer-centric Values



# 1. 調査概要

# I. 調査概要 1 調査設計

調査手法	インターネット調査
抽出母集団	インテージ・ネットモニター
調査地域	全国
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20～70代の男女</li> <li>・本人または家族が以下の職業に従事している場合は対象外              出版・印刷関連、新聞・放送業、マスコミ、広告、市場調査、金融関係（銀行/信託/信金/信組/政府系金融信販/消費者金融/              その他金融/証券、商品取引/生命保険/損害保険）</li> </ul>
調査期間	<input type="checkbox"/> スクリーニング調査      2018年3月13日（火）～3月19日（月） <input type="checkbox"/> 本調査                              2018年3月20日（火）～3月26日（月）
調査設計	<input type="checkbox"/> スクリーニング調査：回収目標サンプル数 最大70,000サンプル <グループ1> 性別／年代／エリアで母集団準拠を行った50,000サンプル程度 ※母集団準拠については、平成27年度の国勢調査結果にその後の人口動向を加味したものを母集団として使用 <グループ2> 「農林漁業」「専門職」「個人事業主」従事者、「会社員」「派遣・契約社員」約20,000サンプル程度 <input type="checkbox"/> 本調査：回収目標サンプル数：5,000サンプル程度 <グループA> 3年以内借入経験者 3,000サンプル <グループB> 3年以内借入経験者以外 2,000サンプル <グループC> 「農林漁業」「専門職」「個人事業主」従事者、「会社員」「派遣・契約社員」500～1000サンプル程度 （※ 上記A、Bに含まれる）
有効回収サンプル数	<input type="checkbox"/> スクリーニング調査 <グループ1> 性別／年代／エリアで母集団準拠を行った、51,857サンプル <グループ2> 「農林漁業」336サンプル、「専門職」1,576サンプル、「個人事業主」7,369サンプル、 <input type="checkbox"/> 本調査 <グループA> 3年以内借入経験者 2,263サンプル <グループB> 3年以内借入経験者以外 2,160サンプル（うち、借入未経験者 1,932サンプル） <グループC> 「農林漁業」59サンプル、「専門職」62サンプル、「個人事業主」427サンプル、 「会社員」29サンプル、「派遣・契約社員」7サンプル

（注）グループCについては、調査結果の精度を高める観点から、いくつかの属性においてサンプルの補填を行っているもの。

# 1. 調査概要 2 本調査 有効回収数

- 本報告書では、下表「ランダムサンプル」※1をベースに分析。
- ただし、職業別に分析を行う際にのみ、「ランダムサンプル」に「補填サンプル」※2を加えたサンプルをベースとして分析。

※1 「ランダムサンプル」とは、市場の構成を反映させるため、スクリーニング時に性別／年代／エリア(地域)別に市場人口構成比に準じた割付を行い回収したサンプルです。

※2 「補填サンプル」とは、職業別分析の際に安定したサンプル数を確保するため、ランダムサンプルとは別枠でスクリーニングを行い獲得したサンプルです。

	ランダムサンプル					補填サンプル				
	TOTAL	3年以内 借入経験者	3年以内 借入経験者 以外 計	うち、 借入経験あり (3年より前)	うち、 借入経験なし	TOTAL	3年以内 借入経験者	3年以内 借入経験者 以外 計	うち、 借入経験あり (3年より前)	うち、 借入経験なし
TOTAL	4423	2263	2160	228	1932	584	530	54	7	47
会社員	1453	905	548	75	473	29	29	0	0	0
経営者・役員	103	62	41	7	34					
個人事業主(自営業、SOHO含む)	309	180	129	18	111	427	427	0	0	0
公務員(教職員含む)	153	74	79	6	73					
専門職(個人事業主は除く)	93	55	38	2	36	62	50	12	2	10
農林漁業	23	13	10	2	8	59	17	42	5	37
派遣・契約社員	297	199	98	19	79	7	7	0	0	0
パート・アルバイト・フリーター	713	392	321	38	283					
専業主婦／主夫	613	148	465	21	444					
無職	511	163	348	36	312					
学生	98	43	55	0	55					
その他	57	29	28	4	24					

## 1. 調査概要 3 対象者グループの定義補足

- 『3年以内借入経験者』

最近3年以内に、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ」、「商工ローンからの借入れ」、「手形割引業者からの借入れ」のいずれかの利用経験がある方

- 『3年以内借入経験者、かつ現在借入残高あり』

最近3年以内に、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ」、「商工ローンからの借入れ」、「手形割引業者からの借入れ」のいずれかの利用経験があり、かつ、現在そのいずれかの借入残高が残っている方

- 『3年以内借入経験者、かつ現在消費者金融に借入残高あり』

最近3年以内に、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ」、「商工ローンからの借入れ」、「手形割引業者からの借入れ」のいずれかの利用経験があり、かつ、現在「消費者金融からの借入れ」の借入残高が残っている方

- 『借入経験なし』

過去、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ」、「商工ローンからの借入れ」、「手形割引業者からの借入れ」のいずれについても利用経験がない方

# 1. 調査概要 4 補正処理(ウェイトバック)について

- スクリーニング調査結果より、「3年以内借入経験者」が全体に占める割合は7.3%。この値が全体に占める「3年以内借入経験者」の比率と推計される(表1)。
- ただし、本調査は「3年以内借入経験者」を約3,000サンプル、「3年以内借入経験者以外」を約2,000サンプルとして設計を行ったため、「3年以内借入経験者」が本調査回収サンプル総数の半数以上を占め、実際の構成よりも大きな比率を占めている。
- よって、セーフティネットの認知など、「3年以内借入経験者」と、「3年以内借入経験者以外」を足した数値をみる際には、3年以内借入経験者の比率を市場構成比にあわせるための補正処理(ウェイトバック)を実施。  
※本報告書においては、ウェイトバックを行った数値を記載している箇所には「**ウェイトバックあり**」と注記を付している。

【表1】スクリーニング／本調査回収結果における、「3年以内借入経験者」の割合

スクリーニング調査回収結果(母集団準拠サンプルのみ)

	TOTAL	3年以内借入経験者	3年以内借入経験者以外
サンプル数	51,857	3,782	48,075
構成比	100.0%	7.3%	92.7%

【表2】ウェイトバック値の算出方法

	①	②	③	ウェイトバック値 (③÷①)
	回収サンプル数	SCR回収結果より母集団準拠した際の比率	回収サンプル数をSCR回収結果の比率に合わせる (①の合計×②)	
合計	4,423	1	4,423	-
3年以内借入経験者	2,263	0.073	323	0.1426774
3年以内借入経験者以外	2,160	0.927	4,100	1.8982042

本調査回収結果(補填サンプルを除く)

	TOTAL	3年以内借入経験者	3年以内借入経験者以外
サンプル数	4,423	2,263	2,160
構成比	100.0 %	51.2 %	48.8 %

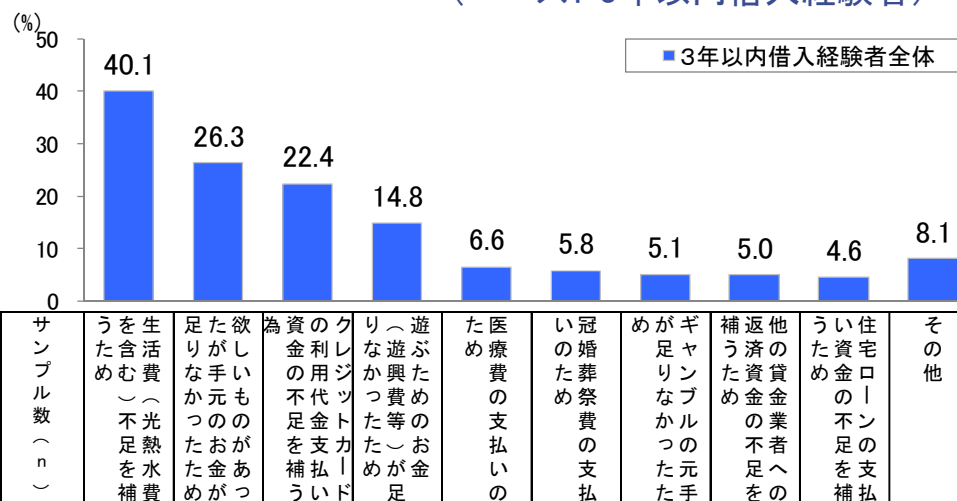
## II. 調査結果のまとめ

## II. 調査結果のまとめ

### 3年以内借入経験者の実態：借入目的（クレジットカード会社のキャッシング・カードローン利用者）

■ 3年以内借入経験者のうち、クレジットカード会社のキャッシング・カードローン利用者の利用目的の上位3位は、「生活費不足の補填」40.1%、「欲しいもの購入への資金不足の補填」26.3%、「クレジットカードの支払い資金不足の補填」22.4%。（図表1）

【図表1】クレジットカード会社のキャッシング・カードローン利用者の利用目的（ベース：3年以内借入経験者）



#### <傾向>

- 年収別では、年収が低い方が「生活費不足の補填」への回答割合が高くなる傾向。
- 職業別では、全体と比べ『個人事業主』『派遣・契約社員』『パート・アルバイト・フリーター』は「生活費不足の補填」の回答割合が高い。

	サンプル数 (n)	生活費不足の補填	欲しいもの購入への資金不足の補填	クレジットカードの支払い資金不足の補填	遊ぶためのお金	医療費の支払い	冠婚葬祭の支払い	ギャラリーなど	返済資金不足	住宅ローン	その他	
3年以内借入経験者全体	1,928	40.1	26.3	22.4	14.8	6.6	5.8	5.1	5.0	4.6	8.1	
年収別	0円	129	46.5	21.7	20.2	10.1	5.4	2.3	3.9	4.7	3.9	10.9
	1～300万円以下	976	44.2	26.5	24.2	13.5	7.0	5.8	4.3	5.4	3.9	8.5
	301～500万円以下	488	37.7	25.4	21.7	16.6	7.4	7.0	6.4	4.1	5.7	6.6
	501～1000万円以下	296	30.1	29.4	18.9	18.2	4.7	5.4	5.7	5.4	5.1	7.8
	1001万円以上	39	25.6	23.1	17.9	15.4	5.1	2.6	10.3	2.6	7.7	12.8
職業別	会社員	796	39.6	25.5	19.5	15.2	6.0	5.3	6.0	4.8	5.5	7.7
	経営者・役員	57	28.1	22.8	24.6	12.3	5.3	8.8	7.0	8.8	7.0	5.3
	個人事業主	521	47.0	21.5	25.3	9.2	6.7	5.2	3.5	5.4	5.6	6.3
	公務員	67	35.8	22.4	19.4	13.4	6.0	9.0	11.9	6.0	4.5	11.9
	専門職	87	33.3	34.5	23.0	17.2	5.7	3.4	5.7	3.4	8.0	9.2
	農林漁業	27	33.3	25.9	18.5	25.9	3.7	14.8	3.7	0.0	0.0	3.7
	派遣・契約社員	165	47.9	30.9	23.6	14.5	7.9	5.5	3.0	6.1	2.4	7.3
	パート・アルバイト・フリーター	327	46.8	27.5	26.0	16.5	7.6	4.6	3.7	7.0	3.7	8.0
	専業主婦／主夫	138	40.6	26.8	20.3	8.0	6.5	5.1	1.4	1.4	3.6	10.1
	無職	144	31.9	23.6	25.0	16.0	7.6	6.9	4.2	1.4	1.4	12.5
学生	36	19.4	41.7	25.0	22.2	11.1	2.8	2.8	2.8	8.3	5.6	

■ 3年以内借入経験者全体の比率より5ポイント高い  
 ■ 3年以内借入経験者全体の比率より5ポイント低い

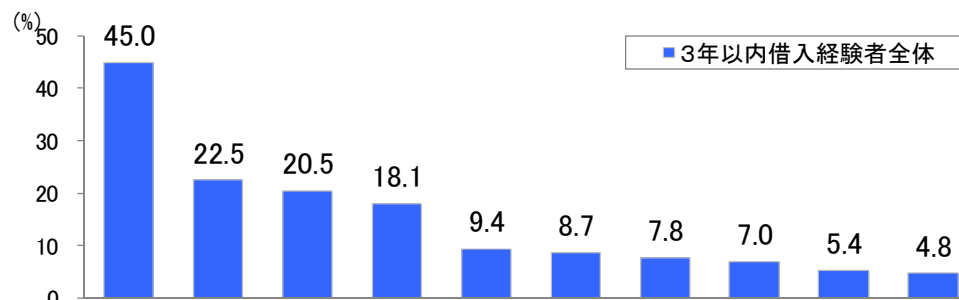


## II. 調査結果のまとめ

### 3年以内借入経験者の実態：借入目的（消費者金融利用者）

■ 3年以内借入経験者の消費者金融の利用目的上位3位は、「生活費不足の補填」45.0%、「欲しいもの購入への資金不足の補填」22.5%、「クレジットカードの支払い資金不足の補填」20.5%となっている。（図表2）

【図表2】消費者金融利用者の利用目的（ベース：3年以内借入経験者）



＜傾向＞

○ 年収別では、年収が低い方が「生活費不足の補填」への回答割合が高くなる傾向。

	サンプル数 (n)	生活費不足の補填	欲しいもの購入への資金不足の補填	クレジットカードの支払い資金不足の補填	遊ばないためのお金	返済資金不足の補填	他の貸金業者への借入	ギャンブルのための元手	冠婚葬祭の支払	医療費の支払い	住宅ローンの不足の補填	その他
3年以内借入経験者全体	667	45.0	22.5	20.5	18.1	9.4	8.7	7.8	7.0	5.4	4.8	
0円	26	50.0	3.8	26.9	15.4	7.7	7.7	0.0	11.5	7.7	3.8	
1～300万円以下	355	49.6	21.1	20.3	18.3	10.1	7.0	7.3	6.2	4.8	5.9	
301～500万円以下	190	43.7	26.8	17.9	15.3	8.9	11.6	7.9	5.8	5.3	2.1	
501～1000万円以下	81	30.9	23.5	25.9	25.9	6.2	9.9	12.3	11.1	3.7	7.4	
1001万円以上	15	20.0	26.7	20.0	13.3	20.0	6.7	6.7	13.3	26.7	0.0	
会社員	313	42.5	21.4	18.8	18.2	8.9	8.9	8.6	6.4	4.2	4.2	
経営者・役員	22	18.2	27.3	27.3	13.6	9.1	4.5	13.6	4.5	4.5	4.5	
個人事業主	141	49.6	15.6	20.6	14.2	10.6	3.5	9.9	5.0	7.1	3.5	
公務員	17	47.1	23.5	29.4	17.6	17.6	5.9	17.6	11.8	11.8	0.0	
専門職	27	37.0	40.7	18.5	11.1	18.5	11.1	11.1	11.1	7.4	3.7	
農林漁業	4	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
派遣・契約社員	70	67.1	25.7	20.0	21.4	10.0	10.0	2.9	10.0	2.9	5.7	
パート・アルバイト・フリーター	128	46.9	21.9	22.7	18.0	7.8	5.5	6.3	7.0	6.3	6.3	
専業主婦／主夫	19	47.4	21.1	21.1	15.8	10.5	15.8	5.3	15.8	5.3	0.0	
無職	33	42.4	12.1	21.2	12.1	12.1	12.1	3.0	0.0	6.1	12.1	
学生	13	30.8	38.5	30.8	38.5	0.0	7.7	0.0	15.4	15.4	7.7	

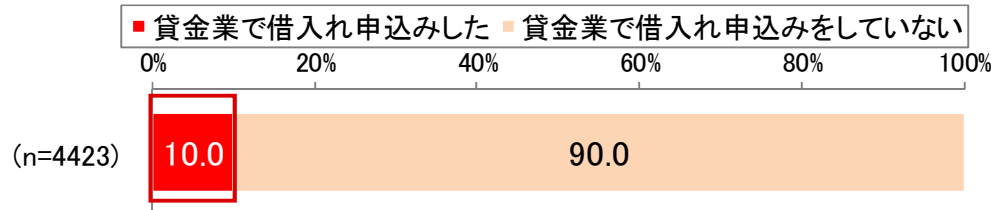
■ 3年以内借入経験者全体の比率より5ポイント高い  
 ■ 3年以内借入経験者全体の比率より5ポイント低い

## II. 調査結果のまとめ

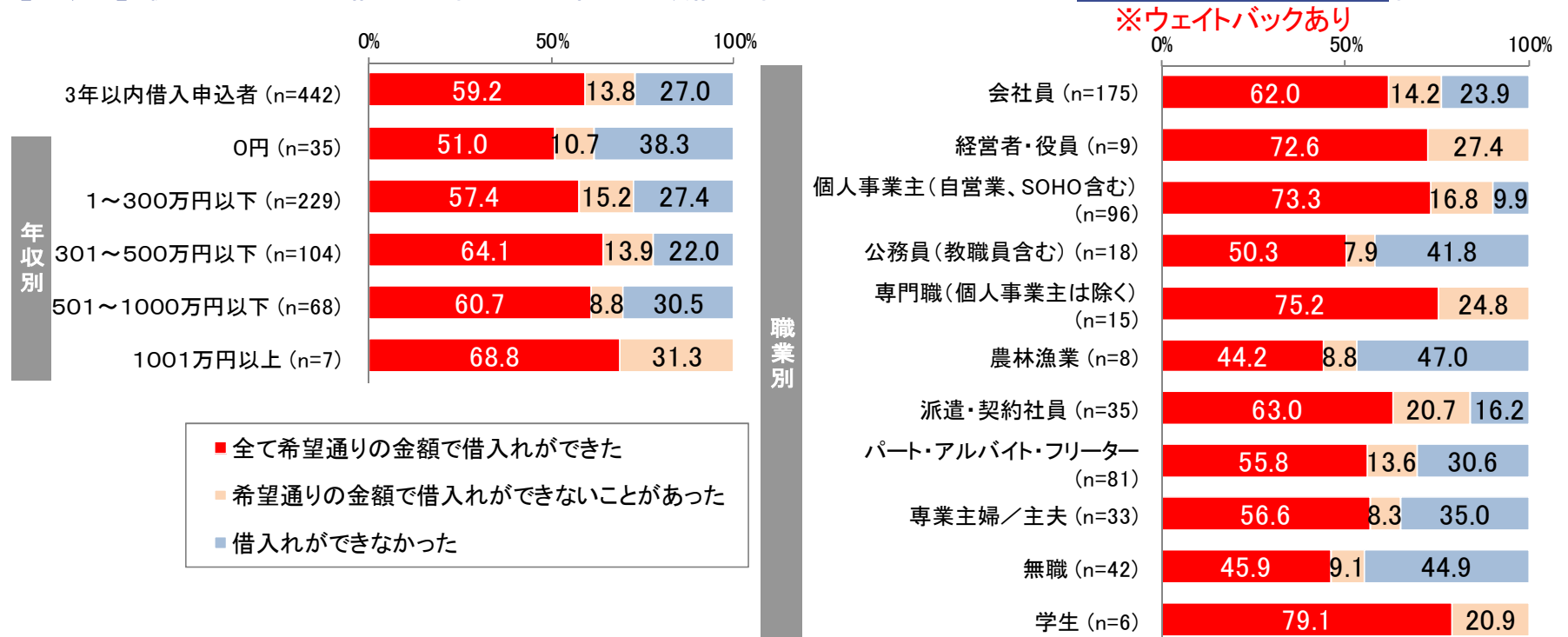
### 最近3年以内の借入状況：希望通りの借入れ有無 ①

■ 最近3年以内に「貸金業で借入申込みをした」のは10.0%、そのうち「全て希望どおりの金額で借入れができた」のは59.2%。(図表3、図表4)

【図表3】最近3年以内の借入れ申込み有無：(ベース：全数) ※ウェイトバックあり



【図表4】最近3年以内の借入れ申込みと希望金額借入有無：(ベース：3年以内貸金業からの借入申込者) ※ウェイトバックあり



## II. 調査結果のまとめ

### 最近3年以内の借入状況：希望通りの借入れ有無 ②

■ 希望通りの借入れができなかった時の対応については、「支出を控えた・諦めた」が最も多く46.4%、次いで「親類・友人等からの援助を受けた・借入れを行なった」が22.6%、「アルバイトなどにより収入の増加に努めた」が18.3%。一方、「クレジットカードのショッピング枠の現金化を利用した」が1.8%、「無登録業者（ヤミ金融）からの借入れを行った」が0.5%。（図表5）

【図表5】最近3年以内の借入不可・希望金額借入不可時の対応  
（ベース:3年以内貸金借入申込者で希望通りの借入不可の経験あり）

※ウェイトバックあり



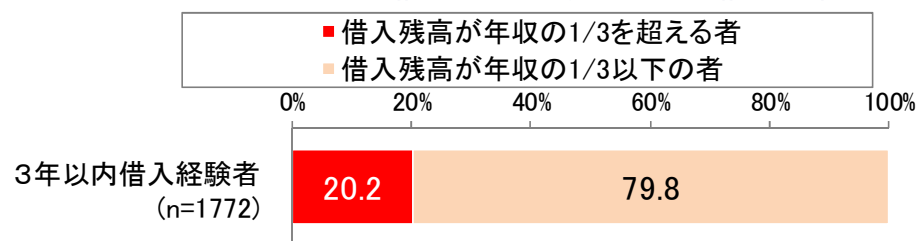
## II. 調査結果のまとめ

### 借入残高が年収の1/3を超える者の割合／現在の借入残高 ①

- 3年以内借入経験者で現在借入残高がある者のうち、借入残高が年収の1/3を超える者※は20.2%。(図表6)
- 年収別で見ると、1,000万円以下では、年収が低いほど、借入残高が年収の1/3を超える者※に該当する割合が高い。(図表7)
- 現在消費者金融に借入残高ある者にしぼると、借入残高が年収の1/3を超える者※は28.0%。(図表8)

※制度上の総量規制の適用除外や例外については、この調査では考慮していない。

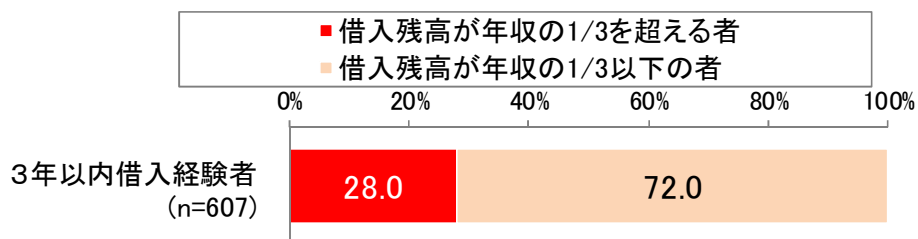
【図表6】借入残高が年収の1/3を超える者の割合  
(ベース:3年以内借入経験者、かつ現在借入残高あり)



【図表7】借入残高が年収の1/3を超える者の割合 年収／職業別  
(ベース:3年以内借入経験者、かつ現在借入残高あり)

	TOTAL	借入残高が年収の1/3を超える者 (%)
0円	97	100.0
1～300万円以下	941	23.1
301～500万円以下	450	6.7
501～1000万円以下	253	4.7
1001万円以上	31	6.5

【図表8】借入残高が年収の1/3を超える者の割合  
(ベース:3年以内借入経験者、かつ現在消費者金融に借入残高あり)



職業別	TOTAL	借入残高が年収の1/3を超える者 (%)
会社員	721	11.1
経営者・役員	50	12.0
個人事業主(自営業、SOHO含む)	491	44.4
公務員(教職員含む)	59	11.9
専門職(個人事業主は除く)	74	23.0
農林漁業	25	12.0
派遣・契約社員	167	16.2
パート・アルバイト・フリーター	320	24.1
専業主婦／主夫	105	50.5
無職	120	21.7
学生	31	32.3

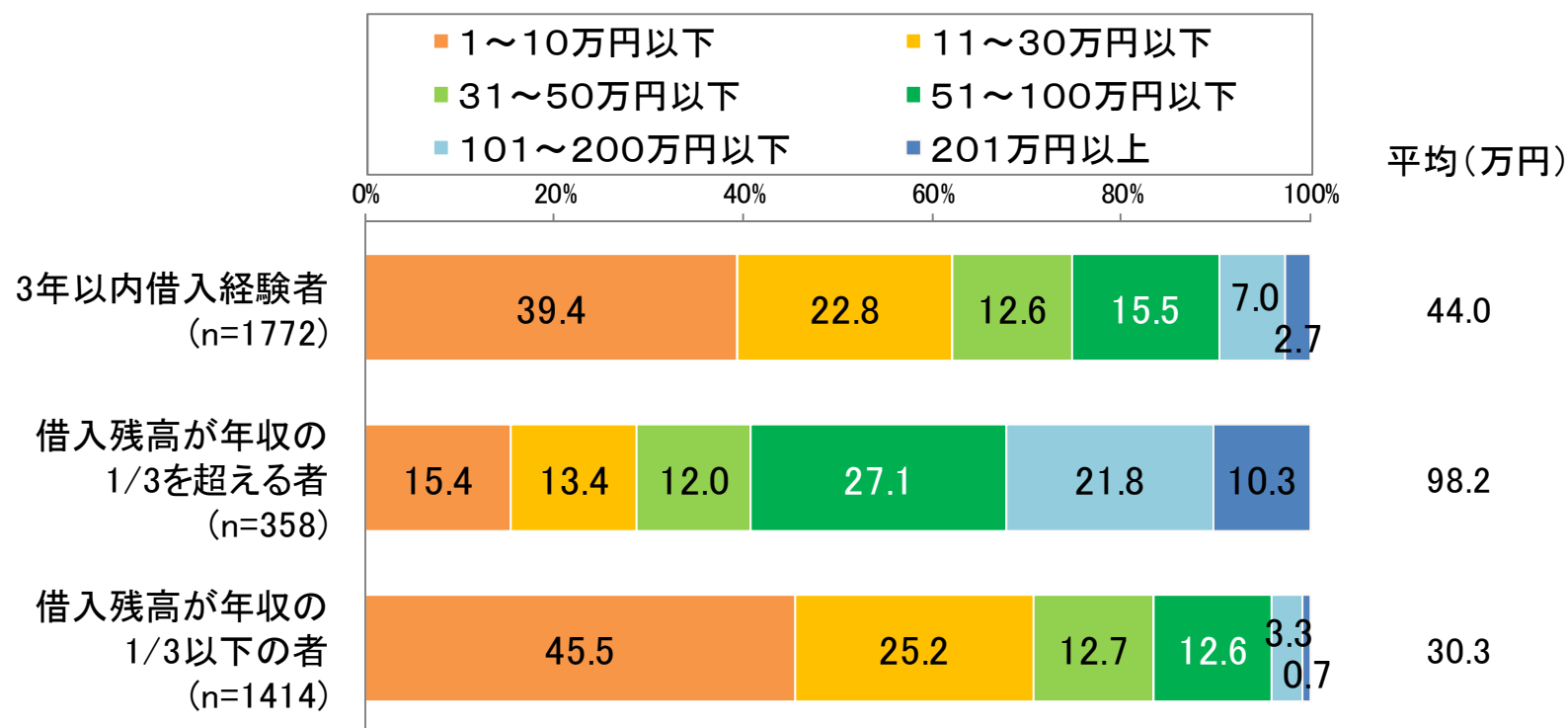
## II. 調査結果のまとめ

### 借入残高が年収の1/3を超える者の割合／現在の借入残高 ②

- 3年以内借入経験者で現在借入残高がある者の借入残高の平均は44.0万円、残高の区分で見ると、「1～10万円以下」が39.4%で最多、次に「11～30万円以下」が22.8%と、30万円以下で約6割を占める。（図表9）
- 借入残高が年収の1/3を超える者※（3年以内借入経験者で現在借入残高がある者）の借入残高の平均は98.2万円、借入残高が年収の1/3以下の者は30.3万円。

※制度上の総量規制の適用除外や例外については、この調査では考慮していない。

【図表9】現在の借入残高（ベース:3年以内借入経験者、かつ現在借入残高あり）



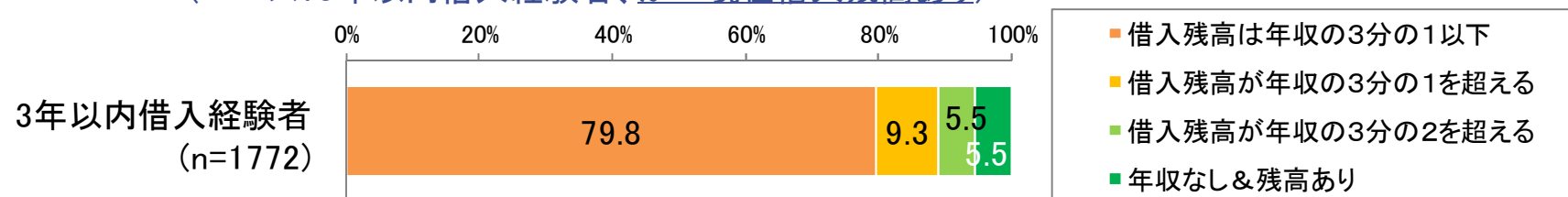
## II. 調査結果のまとめ

### 借入残高が年収の1/3を超える者の特徴 ①

- 借入残高が年収の1/3を超える者※(年収がある者)のうち、「借入残高が年収を超える」者は21.5%を占める。(図表10-2)
- 借入残高が年収の1/3を超える者※(年収がある者)の年収は「1～300万円以下」が83.1%を占める。(図表10-3) ※制度上の総量規制の適用除外や例外については、この調査では考慮していない。

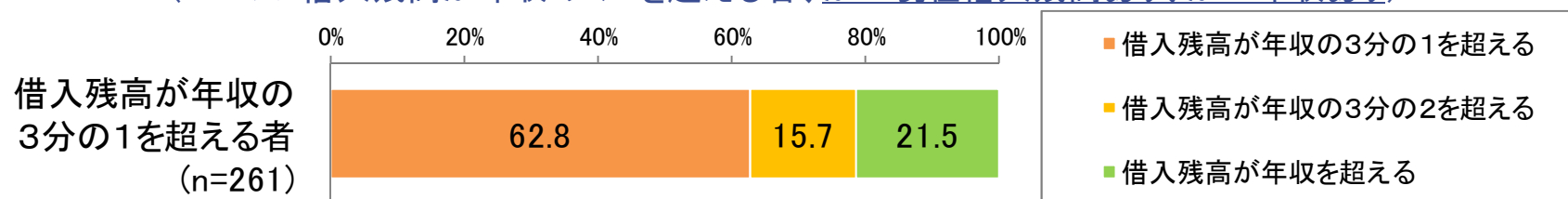
【図表10\_1】 3年以内借入経験者 借入残高の比率区分

(ベース: 3年以内借入経験者、かつ現在借入残高あり)



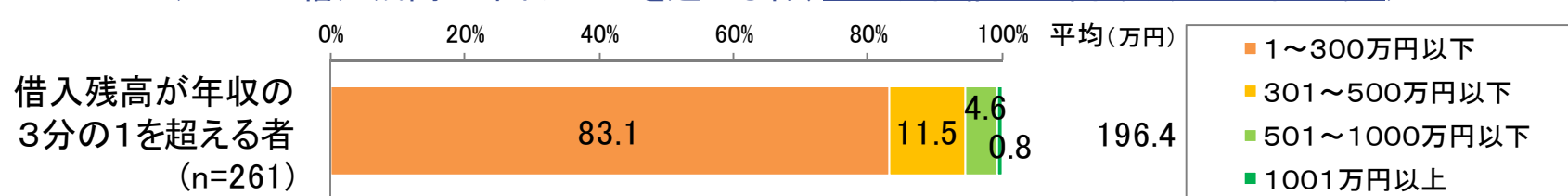
【図表10\_2】 借入残高が年収の1/3を超える者 借入残高の比率区分

(ベース: 借入残高が年収の1/3を超える者、かつ現在借入残高あり、かつ年収あり)



【図表10\_3】 借入残高が年収の1/3を超える者 年収別比率

(ベース: 借入残高が年収の1/3を超える者、かつ現在借入残高あり、かつ年収あり)



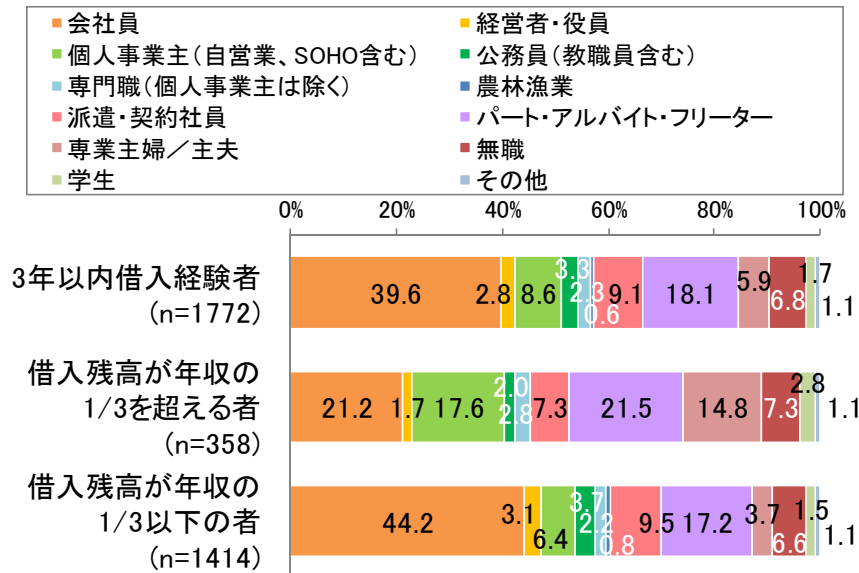
## II. 調査結果のまとめ

### 借入残高が年収の1/3を超える者の特徴 ②

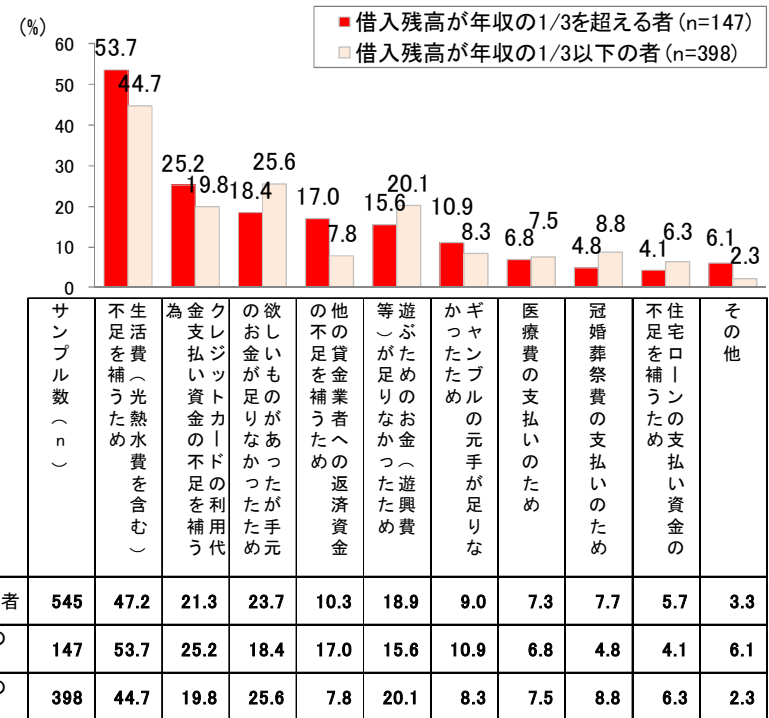
- 借入残高が年収の1/3を超える者※の職業構成を見ると、全体に比べ、『個人事業主』と『専業主婦／主夫』の割合が高い。(図表11)
- 消費者金融に借入残高のある借入残高が年収の1/3を超える者※の借入目的は、借入残高が年収の1/3以下の者に比べ、「生活費不足の補填」「クレジットカードの利用代金支払い資金の補填」「他の貸金業者への返済資金不足の補填」が高い。(図表12)

※制度上の総量規制の適用除外や例外については、この調査では考慮していない。

【図表11】借入残高が年収の1/3を超える者の職業  
(ベース:3年以内借入経験者、かつ現在借入残高あり)



【図表12】借入残高が年収の1/3を超える者消費者金融 借入目的  
(ベース:消費者金融から3年以内借入経験あり、かつ現在借入残高あり)





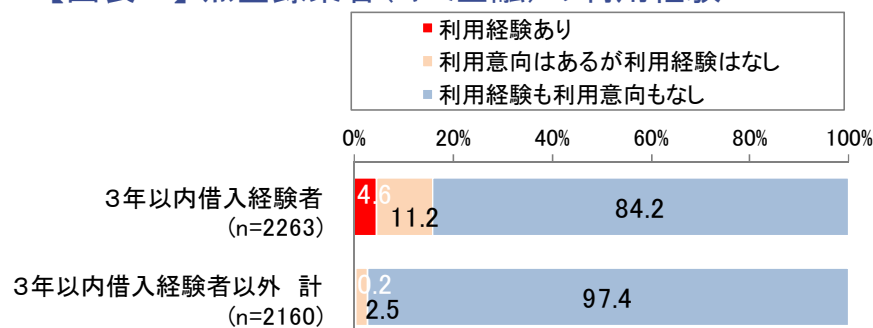
## II. 調査結果のまとめ

### 『無登録業者(ヤミ金融)』の利用経験

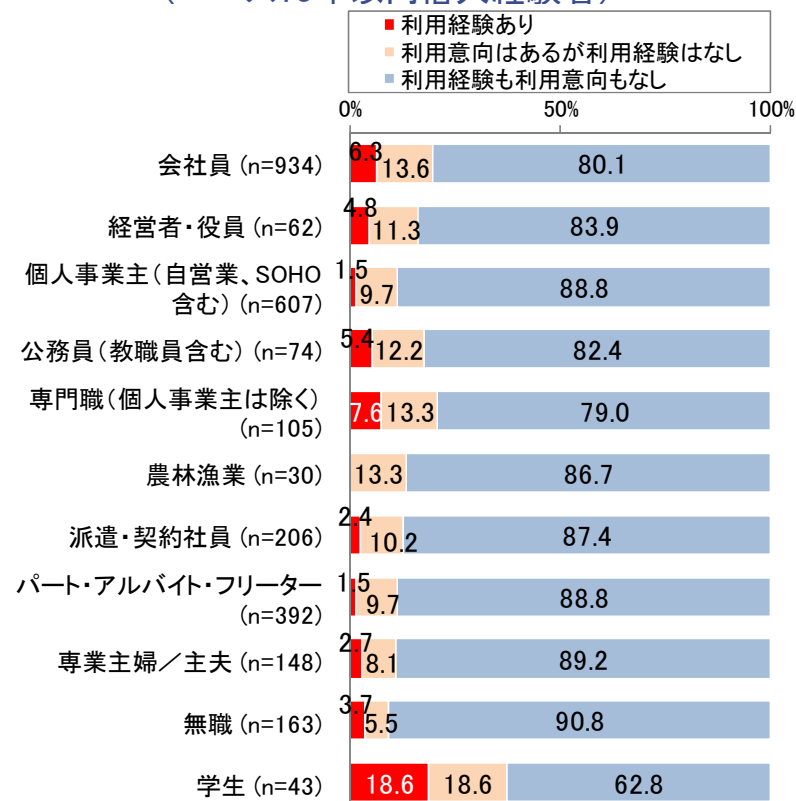
- 3年以内借入経験者のうち、『無登録業者(ヤミ金融)』の「利用経験あり」は4.6%、「利用意向があったが利用経験なし」は11.2%。(図表13)
- 3年以内借入経験者で現在借入残高のある者で借入残高が年収の1/3を超える者※のうち、『無登録業者(ヤミ金融)』の「利用経験あり」は5.6%、「利用意向があったが利用経験なし」は12.0%。(図表15)

※制度上の総量規制の適用除外や例外については、この調査では考慮していない。

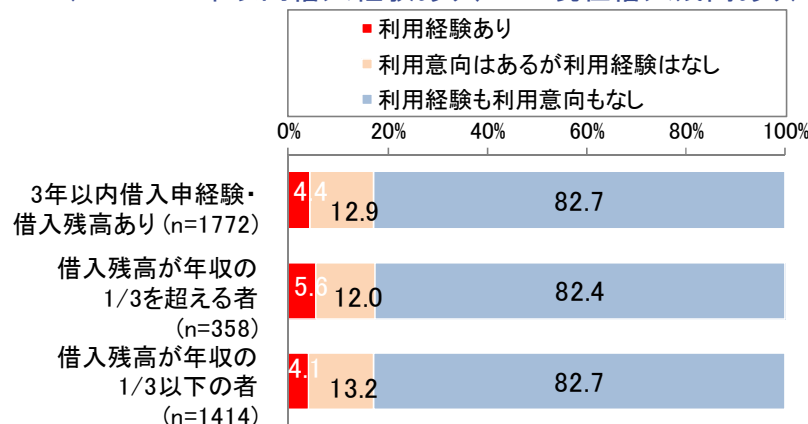
【図表13】無登録業者(ヤミ金融)の利用経験



【図表14】無登録業者(ヤミ金融)の利用経験：職業別 (ベース:3年以内借入経験者)



【図表15】無登録業者(ヤミ金融)の利用経験：借入残高が年収の1/3超・以下別 (ベース:3年以内借入経験あり、かつ現在借入残高あり)



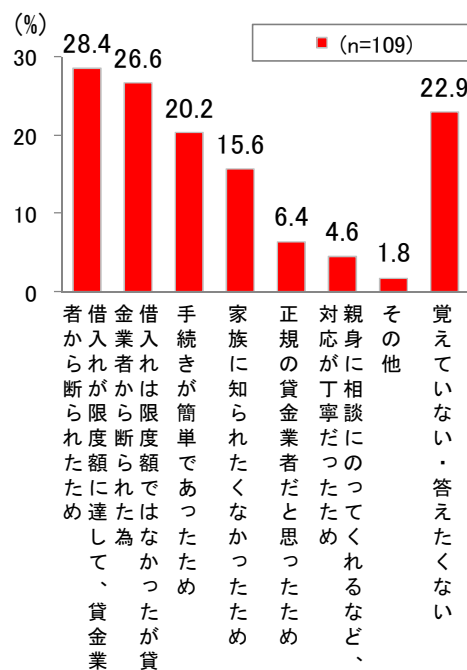


## II. 調査結果のまとめ

### 『無登録業者(ヤミ金融)』の利用経験

- 『無登録業者(ヤミ金融)』利用経験者の利用理由について、「借入れが限度額に達した」が最も高く28.4%、次いで「貸金業者から断られたため」が26.6%。(図表16)
- 無登録業者(ヤミ金融)との接触のきっかけは、「インターネットの広告を見て問い合わせた」が18.3%、次いで「自宅等にDMやちらしが届いた」が16.5%（「覚えていない・答えたくない」以外）。(図表17)
- 無登録業者(ヤミ金融)を利用した感想は、「生活(事業)が悪化した」「金利の負担が重かった」が22.0%、次いで「今後は絶対に借りない」が19.3%。(図表18)

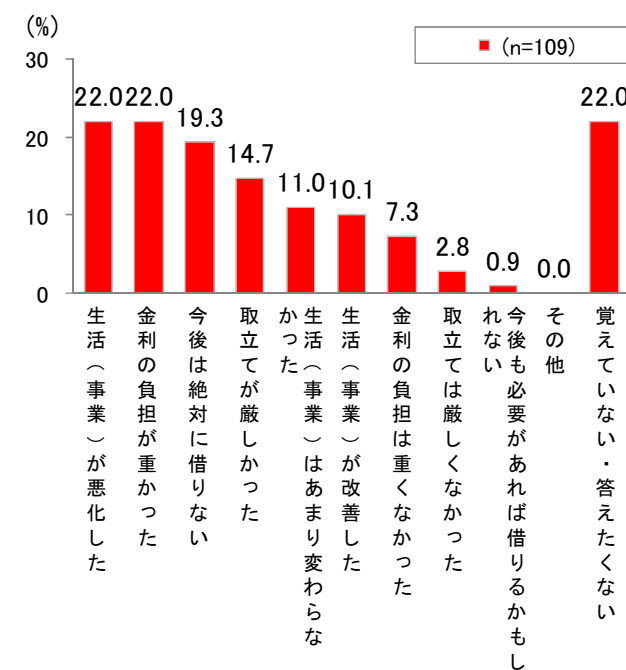
【図表16】 無登録業者(ヤミ金融)の利用理由  
(ベース: 無登録業者借入経験者)



【図表17】 無登録業者(ヤミ金融)との接触契機  
(ベース: 無登録業者借入経験者)



【図表18】 無登録業者(ヤミ金融)から借入れを行った感想  
(ベース: 無登録業者借入経験者)

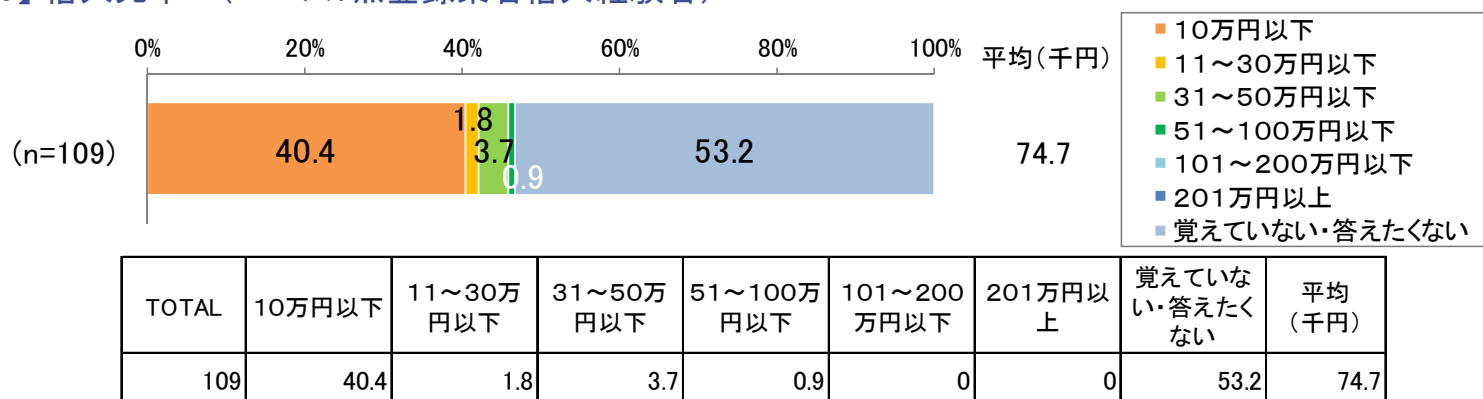


## II. 調査結果のまとめ

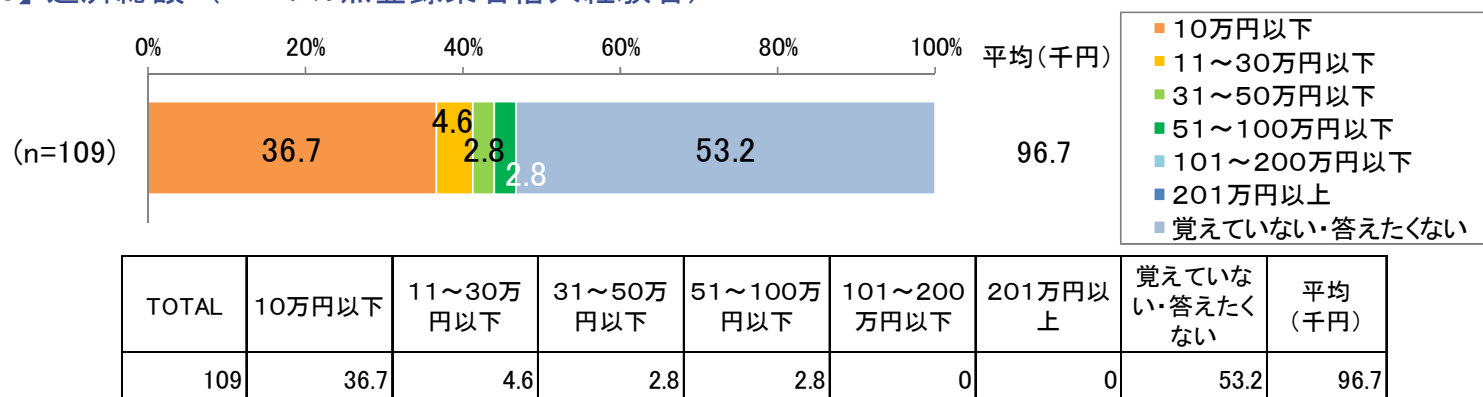
### 『無登録業者(ヤミ金融)』の利用経験

- 『無登録業者(ヤミ金融)』利用経験者の借入元本は、「1～10万円以下」が40.4%。ただし、半数以上は「覚えていない・答えたくない」と回答。(図表19)
- 『無登録業者(ヤミ金融)』利用経験者の返済総額は、「1～10万円以下」が36.7%。ただし、半数以上は「覚えていない・答えたくない」と回答。(図表20)

【図表19】借入元本 (ベース:無登録業者借入経験者)



【図表20】返済総額 (ベース:無登録業者借入経験者)



## II. 調査結果のまとめ

### 『セーフティネット』※の認知

- 3年以内借入経験者における『セーフティネット』の認知は、「法テラス、国民生活センターの相談窓口」が55.1%、「弁護士会、司法書士会の相談窓口」が54.4%、「財務局や地方自治体設置の多重債務専門の相談窓口」が41.4%となっている。（図表21）
- 「借入残高が年収の1/3を超える者※」における『セーフティネット』の認知も3年以内借入経験者と同様の傾向が見られ、「法テラス、国民生活センターの相談窓口」が57.5%で最も高く、「弁護士会、司法書士会の相談窓口」は52.6%、「財務局や地方自治体設置の多重債務専門の相談窓口」が28.9%となっている。

※制度上の総量規制の適用除外や例外については、この調査では考慮していない。

※「セーフティネット」とは、多重債務者など、金銭面で生活が苦しい状況に陥っている方を救済することを目的とした制度で、公的な機関などが相談窓口となっている。

【図表21】セーフティネット認知／詳細認知 ※「TOTAL」のみウェイトバックあり

「認知計」＝「詳細な内容まで知っていた」「聞いたことはあるが詳細な内容までは知らなかった」

	サンプル数	財務局や地方自治体設置の多重債務専門の相談窓口		法テラス、国民生活センターの相談窓口		弁護士会、司法書士会の相談窓口		生活協同組合や労働金庫・信用組合による貸付制度		都道府県の社会福祉協議会が行う生活福祉資金貸付制度	
		認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知
TOTAL	4423	22.5	2.7	40.2	5.4	41.6	4.4	20.4	2.6	19.2	3.5
3年以内借入経験者	2263	41.4	10.5	55.1	14.7	54.4	12.6	34.8	8.2	34.2	9.1
借入未経験者	1932	20.0	1.8	36.8	4.1	39.1	3.3	18.7	2.1	17.1	2.8
3年以内借入経験者のうち、借入残高が年収の1/3を超える者 ※残高あり	358	40.2	9.8	57.8	16.5	57.0	14.0	34.6	7.8	33.0	7.0
3年以内借入経験者のうち、借入残高が年収の1/3以下の者 ※残高あり	1905	41.6	10.6	54.6	14.3	54.0	12.4	34.9	8.2	34.5	9.4

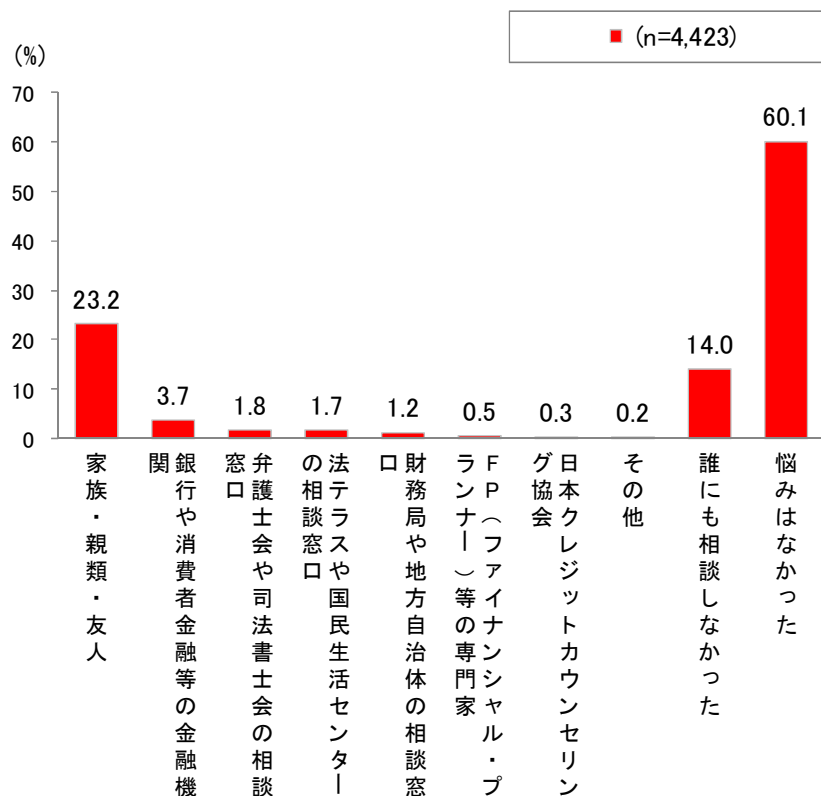
## II. 調査結果のまとめ

### 家計や借入れの悩み相談先

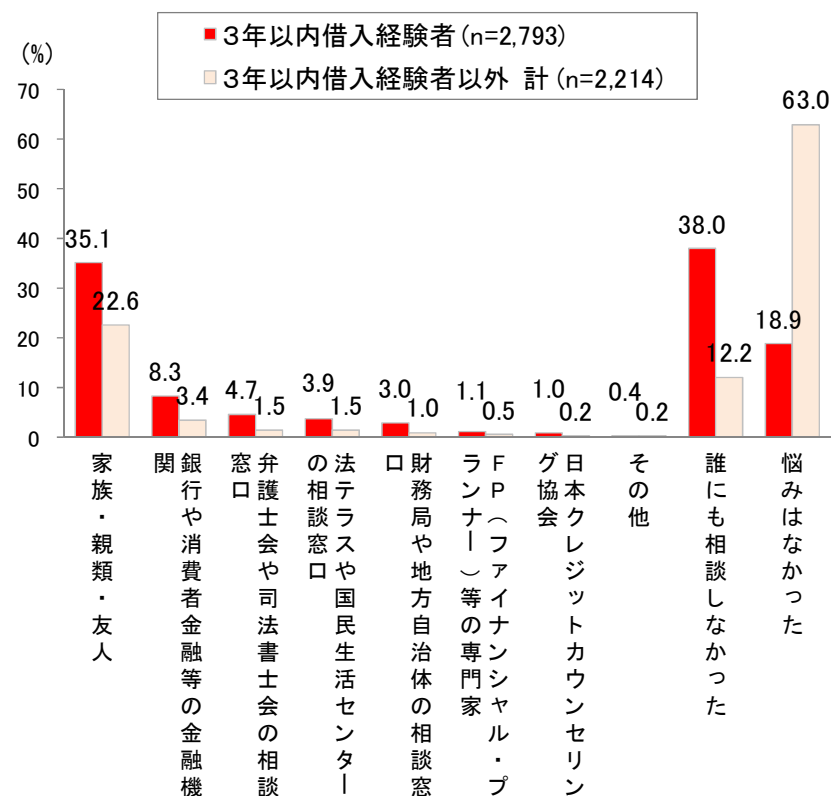
- 全体では、家計や借入れの悩みの相談先として「家族・親類・友人」が23.2%で最も高い。ただし、「悩みはなかった」が60.1%。(図表22)
- 3年以内借入経験者と経験者以外で比べると、経験者では「誰にも相談しなかった」が38.0%で最多、借入経験者以外では「悩みはなかった」が63.0%で最多である。(図表23)

【図表22】家計や借入れの悩み相談先 (ベース: 全数)

※ウェイトバックあり



【図表23】家計や借入れの悩み相談先



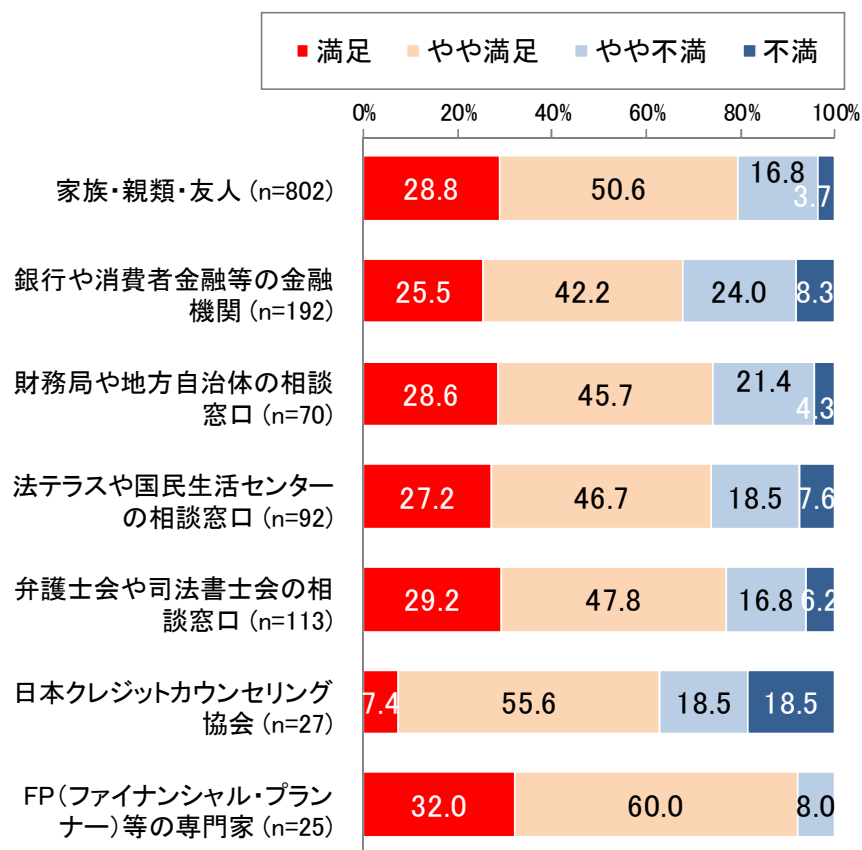
## II. 調査結果のまとめ

### 家計や借入れの悩み相談先満足度

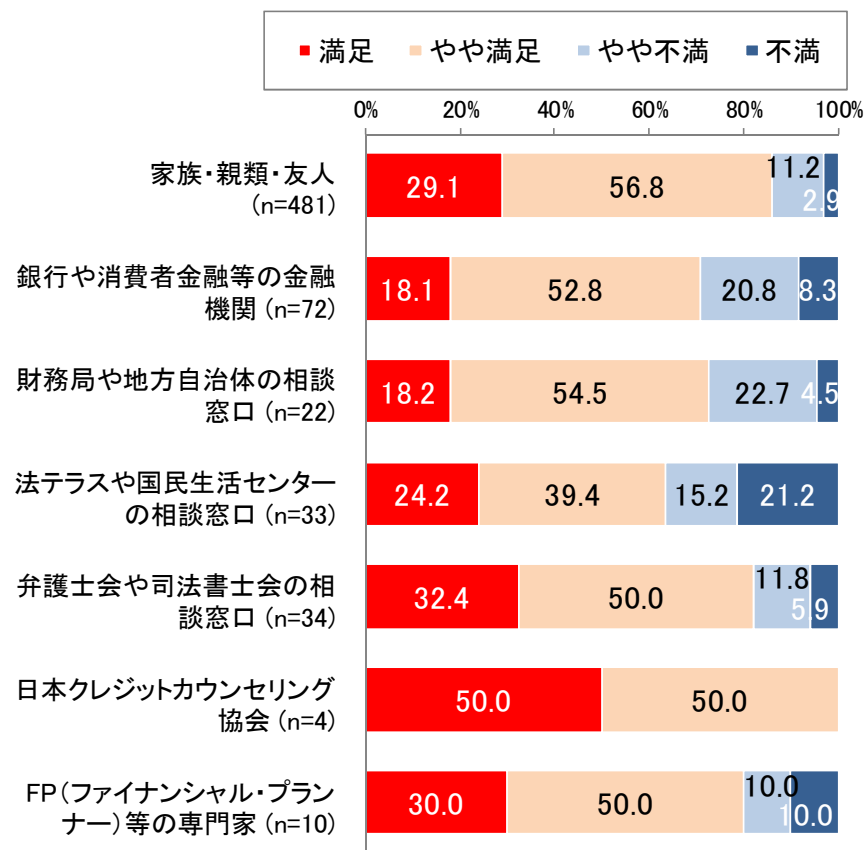
【TOTAL】

■ 3年以内借入経験者のうち、家計や借入れの悩みを相談した先への満足度について、「満足した」の数値を見ると、「法テラス、国民生活センターの相談窓口」は27.2%、「弁護士会、司法書士会の相談窓口」は29.2%。（図表24）

【図表24】家計や借入れの悩み相談先の満足度  
（ベース：3年以内借入経験者で各相談者）



【図表25】家計や借入れの悩み相談先の満足度  
（ベース：3年以内借入経験者以外で各相談者）

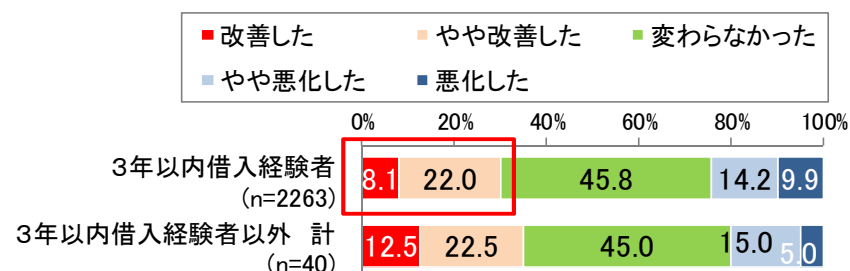


## II. 調査結果のまとめ

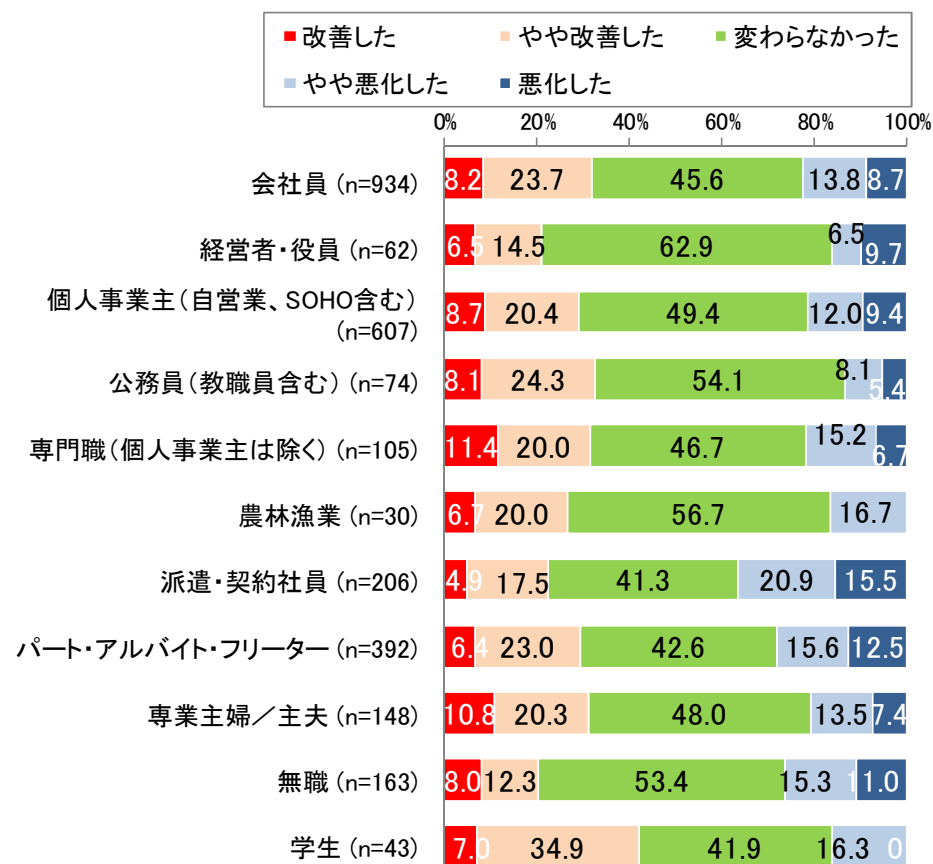
### 最近3年以内各種ローン利用後の家計変化

- 最近3年以内に各種ローン利用後の家計変化については、3年以内借入経験者では、「改善した」「やや改善した」を合わせると30.1%。(図表26)
- 3年以内借入経験者において、職業別で見ると、「学生」が他に比べて改善した割合(「改善した」と「やや改善した」の合計)が高い。一方、「無職」「経営者・役員」は他に比べて改善した割合が低い。(図表27)

【図表26】最近3年以内各種ローン利用後の家計変化



【図表27】最近3年以内各種ローン利用後の家計変化職業別(ベース:3年以内借入経験者)

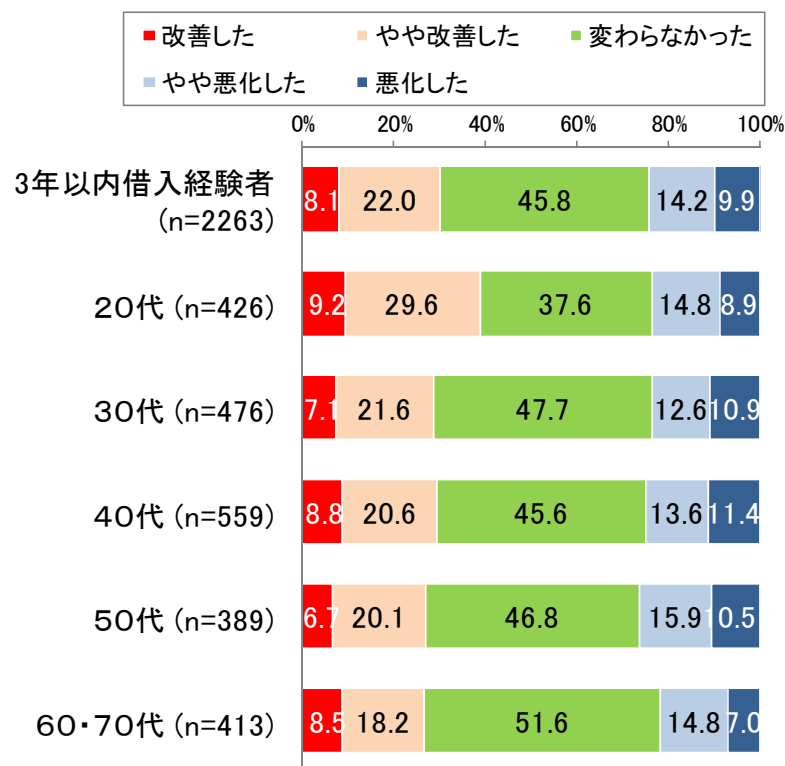


## II. 調査結果のまとめ

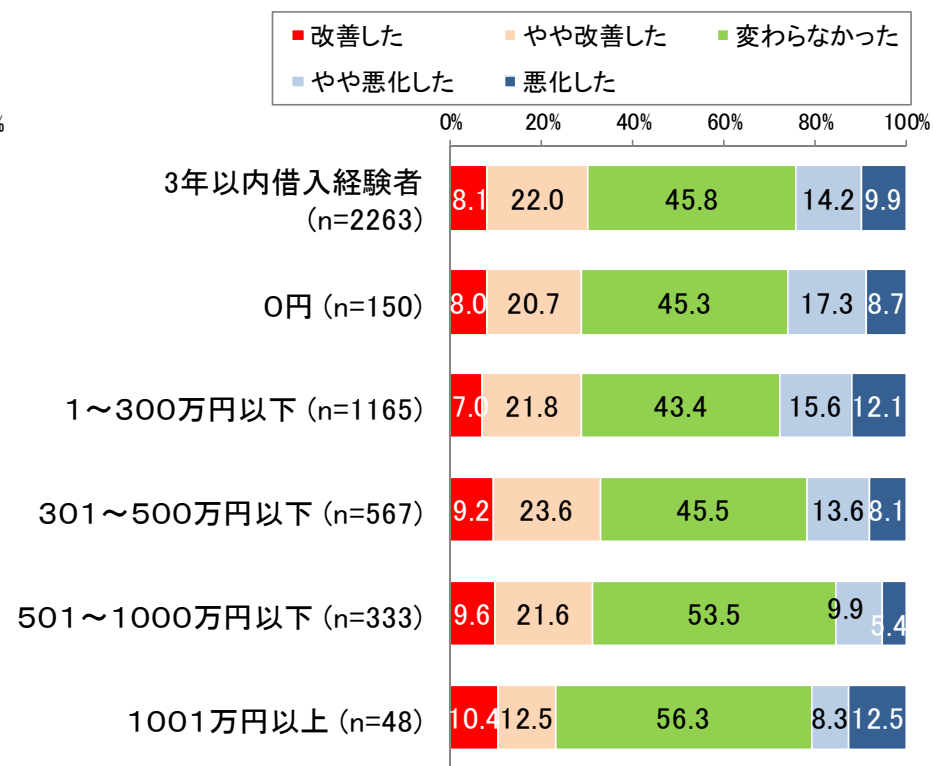
### 各種ローン利用後の家計変化：年代別／年収別

- 3年以内借入経験者の各種ローン利用後の家計変化については、年代別に見ると、「20代」は、「改善した」と「やや改善した」の合計が他よりも高い。（図表28）
- 年収別に見ると、「年収1001万円以上」に該当する者は、「改善した」と「やや改善した」の合計が他よりも低い。（図表29）

【図表28】最近3年以内に各種ローン利用後の家計変化  
年代別（ベース：3年以内借入経験者）



【図表29】最近3年以内各種ローン利用後の家計変化  
年収別（ベース：3年以内借入経験者）



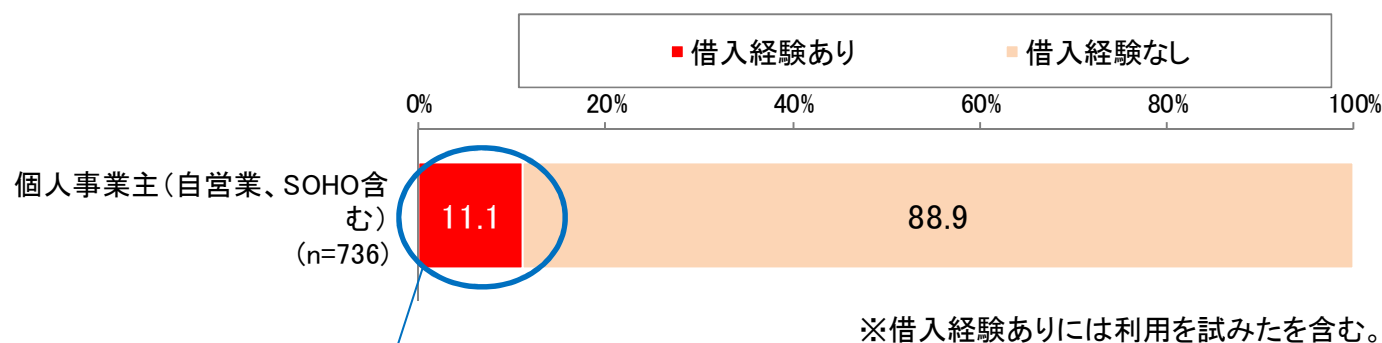
# III. 個人事業主向け調査結果のまとめ



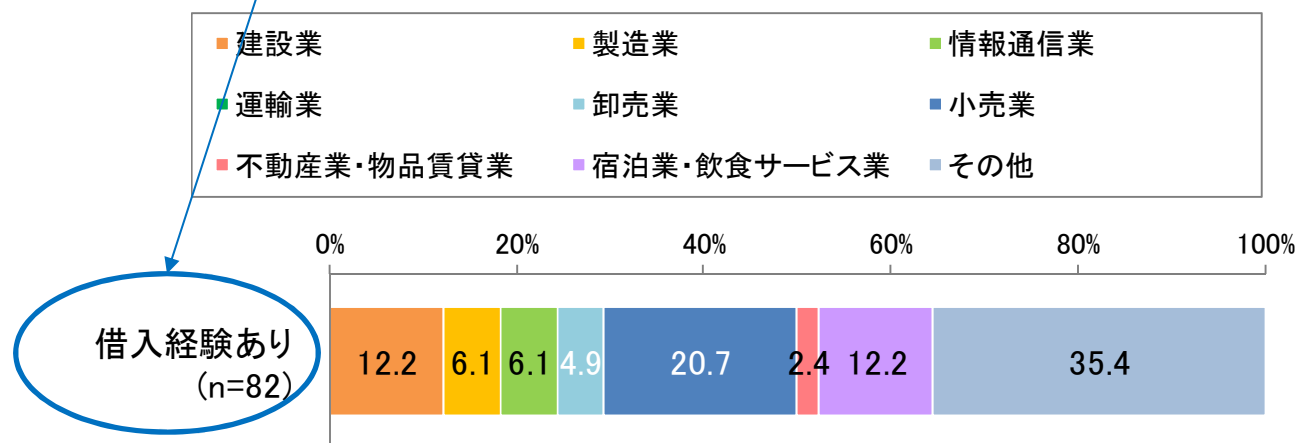
### III. 調査結果のまとめ 事業者のプロフィール

- 個人事業主で、貸金業からの事業資金の借入経験(利用意向含む)のある者は11.1%。(図表30)
- 職種別で見ると、「小売業」が20.7%と最も高く、次いで「建設業」「宿泊業・飲食サービス業」が12.2%で続く。(図表31)

【図表30】 事業資金の借入経験がある個人事業主のうち、貸金業から事業資金の借入経験者・利用意向者(ベース:個人事業主)



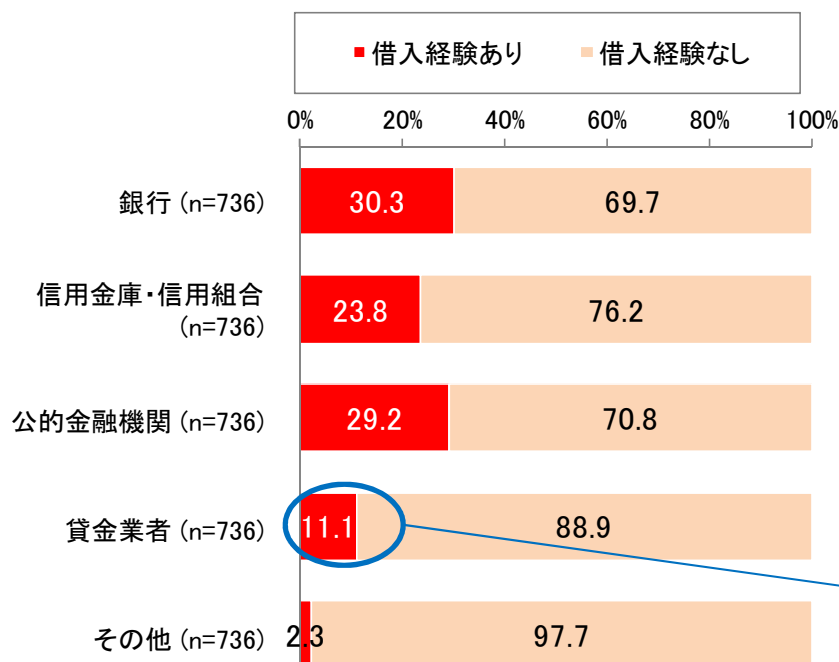
【図表31】 業種 (ベース:個人事業主のうち、事業資金借入経験者・利用意向者)



### III. 調査結果のまとめ 事業者の事業資金の借入れ等の状況

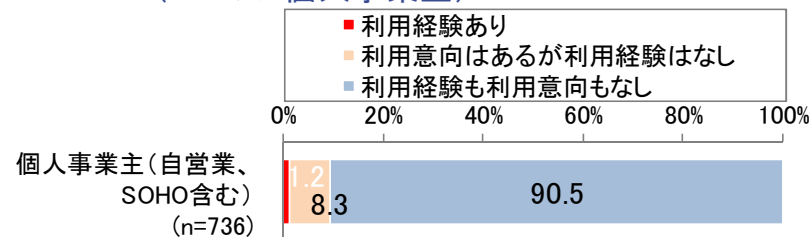
- 個人事業主の事業資金の借入先については、「銀行」が最も高く、借入経験者(利用を試みた者を含む)は30.3%、次いで「公的金融機関」29.2%。(図表32)
- 個人事業主のうち、『無登録業者(ヤミ金融)』の利用経験がある者は1.2%、利用意向はあったが利用経験はない者は8.3%。(図表33)
- 個人事業主のうち、事業資金の借入経験(利用意向含む)のある者で、『無登録業者(ヤミ金融)』の利用経験がある者は4.9%、利用意向はあったが利用経験はない者は26.8%。(図表34)

【図表32】 事業資金の借入経験 (ベース:個人事業主)

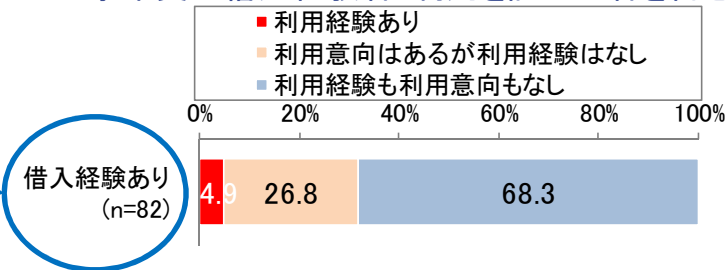


※借入経験ありには利用を試みたを含む。

【図表33】 無登録業者(ヤミ金融)の利用経験 (ベース:個人事業主)



【図表34】 無登録業者(ヤミ金融)の利用経験 (ベース:個人事業主のうち貸金業からの事業資金借入経験者・利用を試みた者を含む)

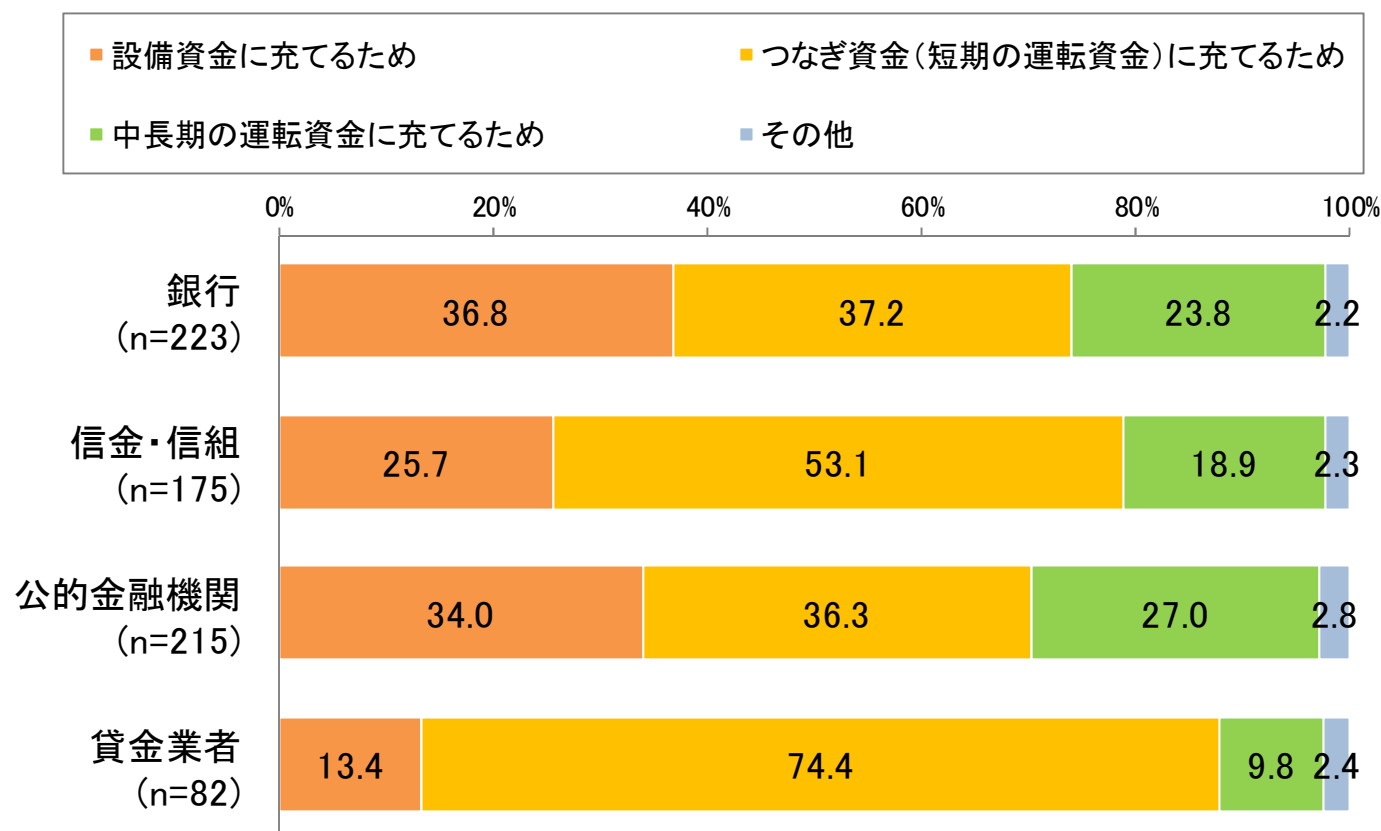


### Ⅲ. 調査結果のまとめ

## 事業者の事業資金の借入れ等の状況

■ 事業資金の借入目的を借入先別で見ると、『資金業者』では「つなぎ資金」が74.4%と最も高い。(図表35)

【図表35】 事業資金の借入目的 (ベース:個人事業主のうち、事業資金借入経験者・利用を試みた者を含む)



## IV. 銀行カードローン利用者のまとめ

## IV. 調査結果のまとめ

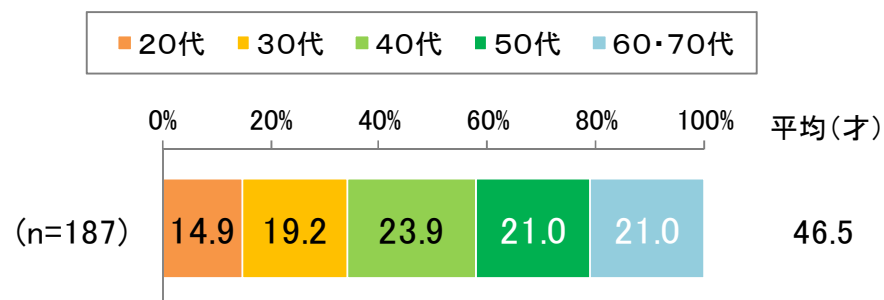
### 銀行カードローン利用者のプロフィール ①

- 銀行カードローンを3年以内に利用した経験がある者は、全体の4.2%。(図表36)
- 利用経験者の年代を見ると、「40代」が23.9%と最も多く、「50代」や「60・70代」も20%を超える。(図表37)
- 利用経験者の性別を見ると、「男性」が71.0%、「女性」が29.0%。(図表38)

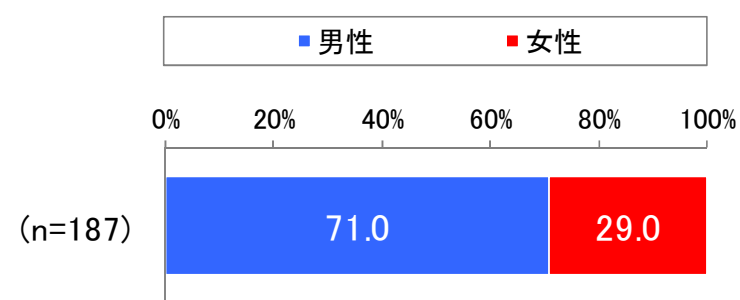
【図表36】借入状況 (ベース:全数) ※ウェイトバックあり

(%)	TOTAL	最近1年以内に借入れを行なった	1年より前～2年以内に借入れを行なった	2年より前～3年以内に借入れを行なった	3年より前に借入れを行なった	借入れを行なったことはない(利用したことはない)
銀行のカードローン	4423	2.8	0.9	0.5	7.1	88.6

【図表37】年代  
(ベース:銀行カードローン3年以内 利用経験者)  
※ウェイトバックあり



【図表38】性別  
(ベース:銀行カードローン3年以内 利用経験者) ※ウェイトバックあり

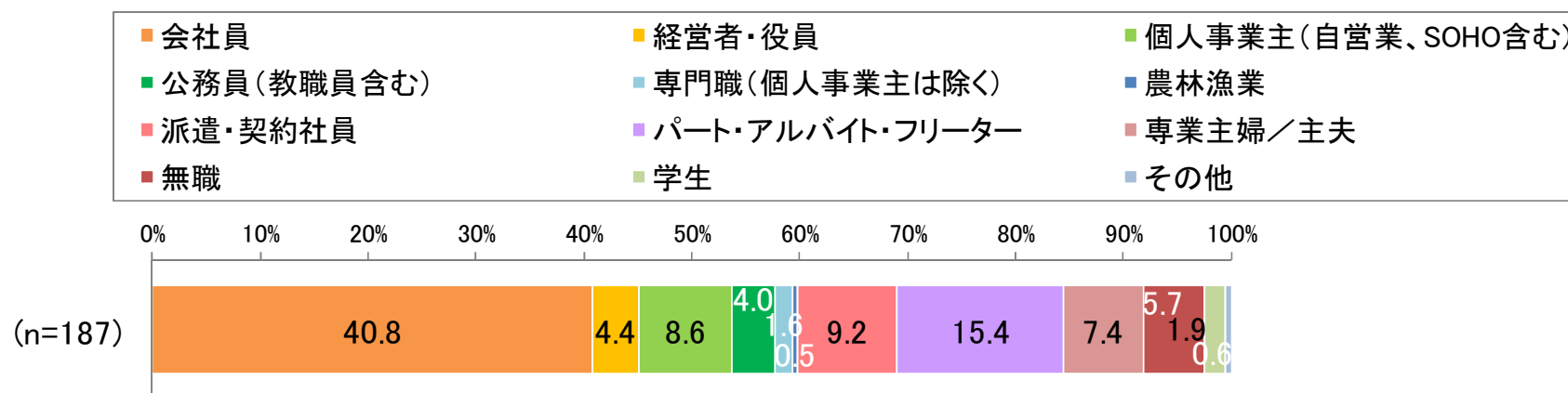


## IV. 調査結果のまとめ

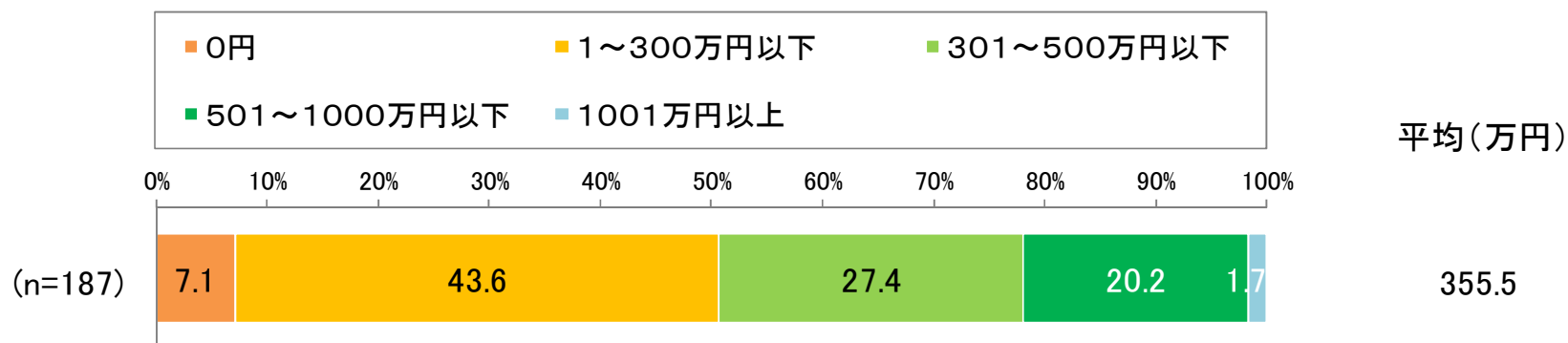
### 銀行カードローン利用者のプロフィール ②

- 利用経験者の職業は「会社員」が40.8%と最多。(図表39)
- 利用経験者の年収は、「1～300万円以下」が43.6%が最多で、次いで「301～500万円以下」が27.4%。(図表40)

【図表39】職業 (ベース:銀行カードローン3年以内利用経験者) ※ウェイトバックあり



【図表40】年収 (ベース:銀行カードローン3年以内利用経験者) ※ウェイトバックあり



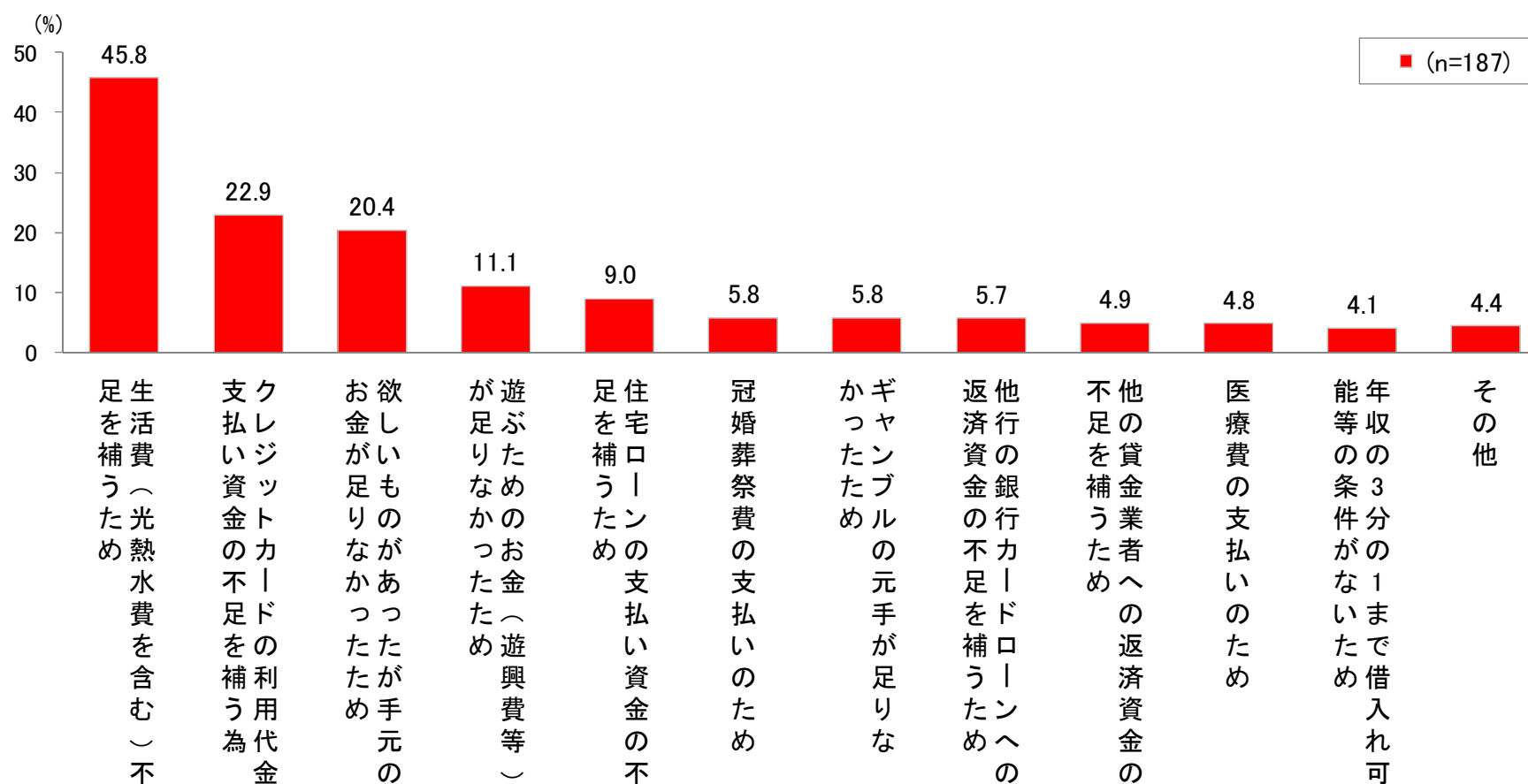
## IV. 調査結果のまとめ

### 銀行カードローン利用者の借入等の状況

■ 3年以内銀行カードローン利用経験者の借入目的は、「生活費不足の補填」が45.8%と最多。次いで、「クレジットカードの支払い資金不足の補填」22.9%、「欲しいものための資金不足の補填」20.4%。(図表41)

【図表41】借入目的

(ベース: 銀行カードローン3年以内利用経験者) ※ウェイトバックあり



## IV. 調査結果のまとめ

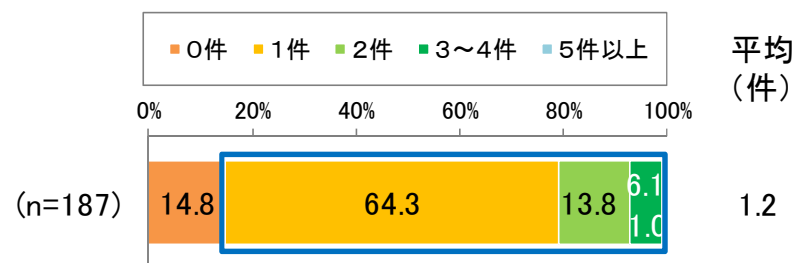
### 銀行カードローン利用者の借入等の状況

- 3年以内銀行カードローン利用経験者の借入件数は、「1件」が64.3%。(図表42)
- 銀行カードローンの借入平均金額は、「～5万円以下」が32.5%と最多。(図表43)
- 銀行カードローンの借入残高は、「1～10万円以下」が31.9%と最多。(図表44)

【図表42】借入件数

(ベース:銀行カードローン3年以内利用経験者)

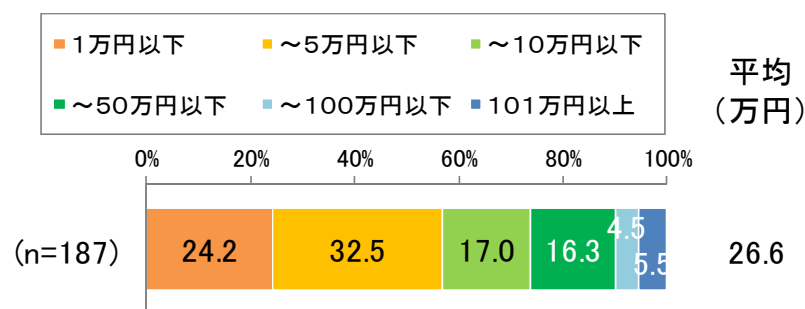
※ウェイトバックあり



【図表43】借入平均金額

(ベース:銀行カードローン3年以内

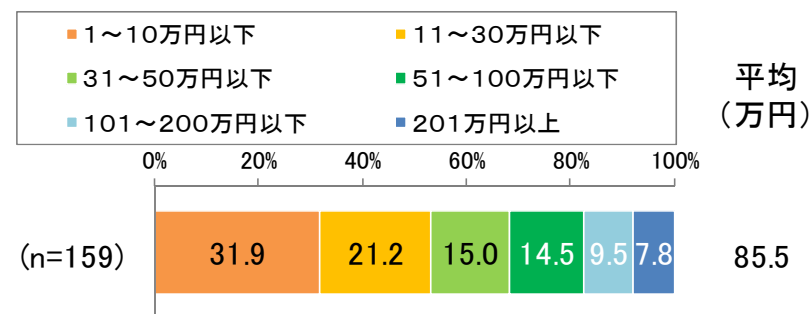
利用経験者) ※ウェイトバックあり



【図表44】借入残高

(ベース:銀行カードローン3年以内利用経験者／

借入件数1件以上) ※ウェイトバックあり





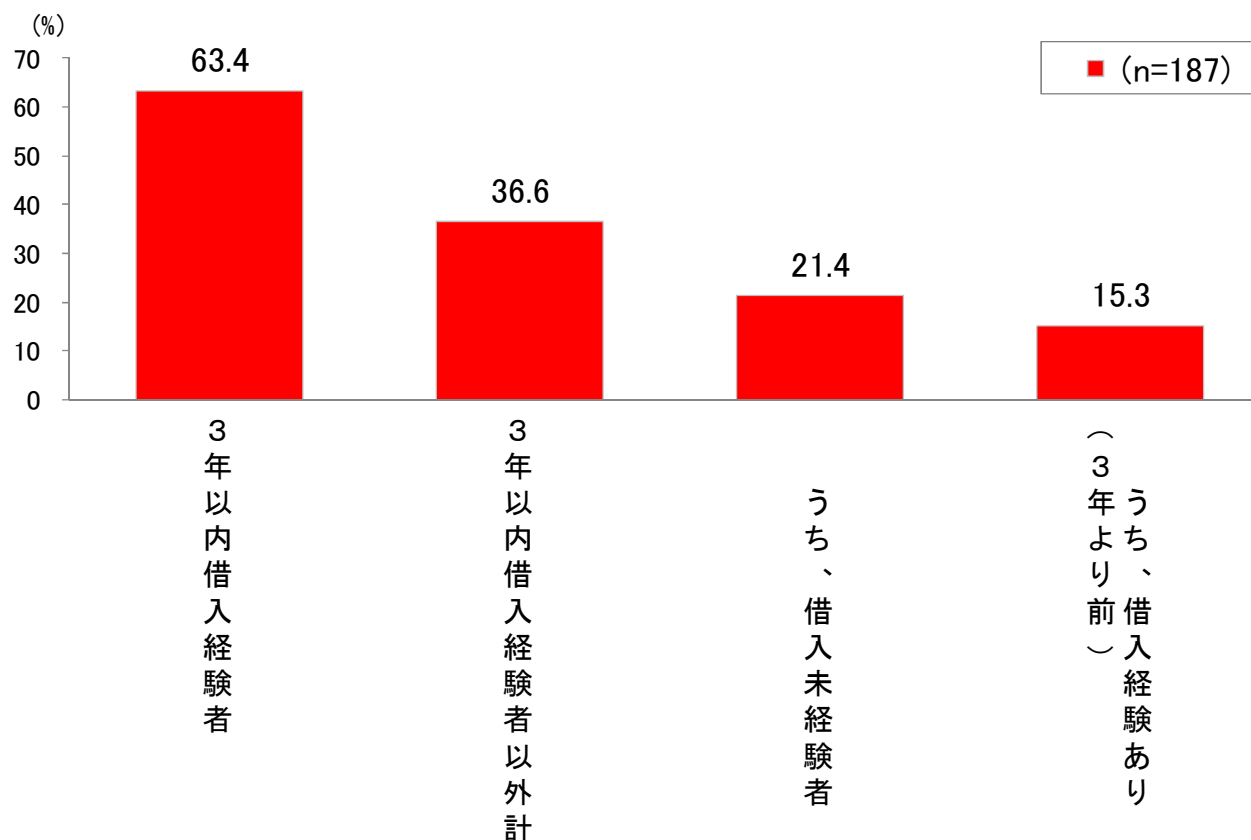
## IV. 調査結果のまとめ

### 銀行カードローン利用者の貸金業借入等の状況

■ 3年以内銀行カードローン利用経験者のうち、3年以内に貸金業者から借入れをした経験がある者の割合は、63.4%。(図表45)

※制度上の総量規制の適用除外や例外については、この調査では考慮していない。

【図表45】貸金業借入状況(ベース:銀行カードローン3年以内利用経験者)  
※ウェイトバックあり



## IV. 調査結果のまとめ

### 銀行カードローン利用者の借入等の状況

■ 3年以内銀行カードローン利用経験者が、銀行カードローンを一番初めに申し込んだ理由は、「手続きが非対面で完結する」が23.6%と最多。(図表46)

【図表46】銀行カードローンを一番初めに申し込んだ理由  
(ベース: 銀行カードローン3年以内利用経験者) ※ウェイトバックあり



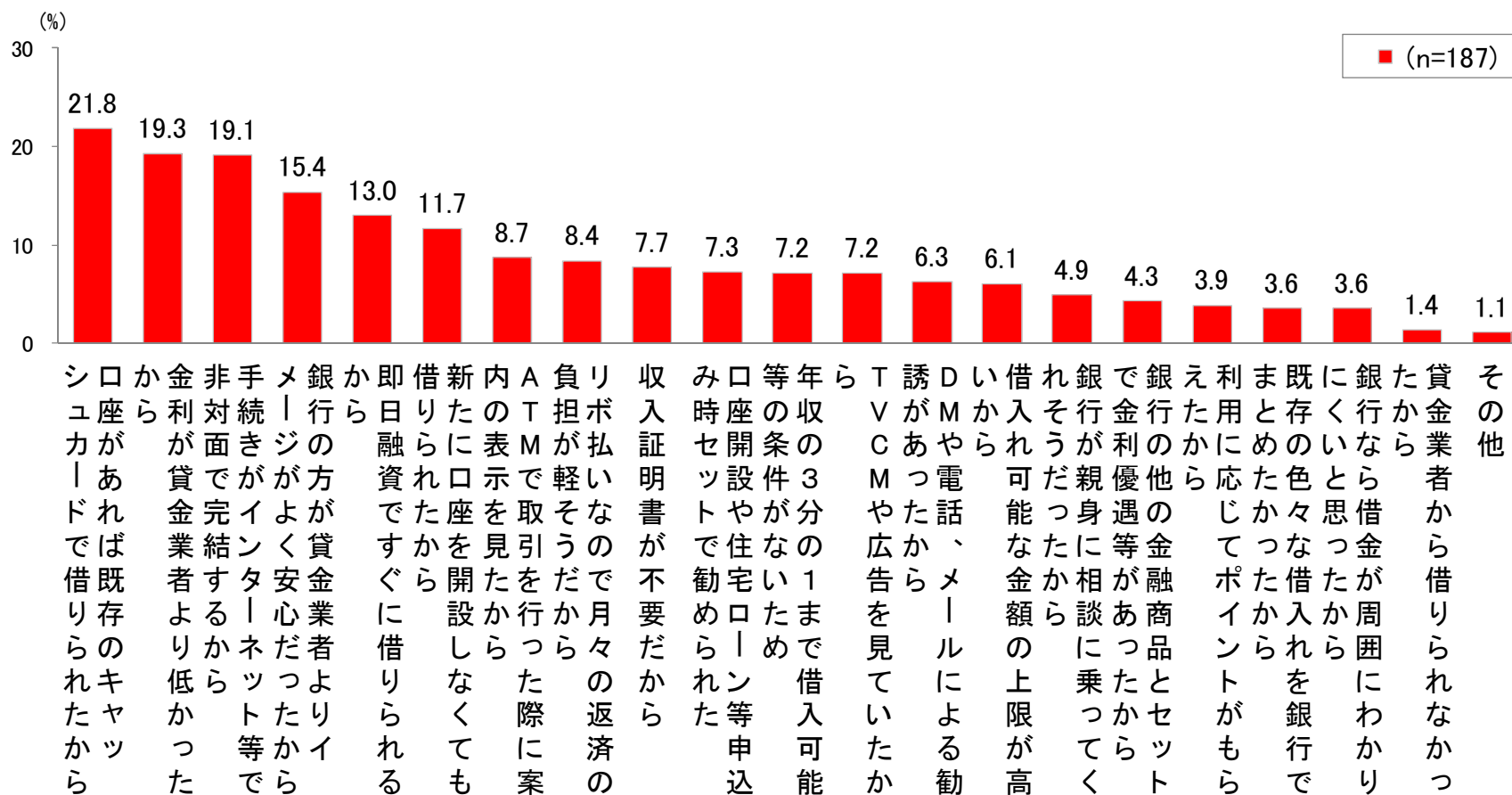
## IV. 調査結果のまとめ

### 銀行カードローン利用者の借入等の状況

■ 3年以内銀行カードローン利用経験者が、銀行カードローンの利用を選択した理由は、「口座があれば既存のキャッシュカードで借りられた」が21.8%と最多。(図表47)

【図表47】銀行カードローン利用選択理由 (ベース: 銀行カードローン3年以内利用経験者)

※ウェイトバックあり

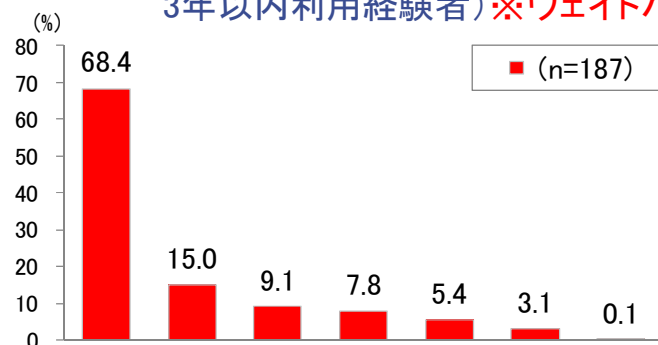


## IV. 調査結果のまとめ

### 銀行カードローン利用者の借入等の状況

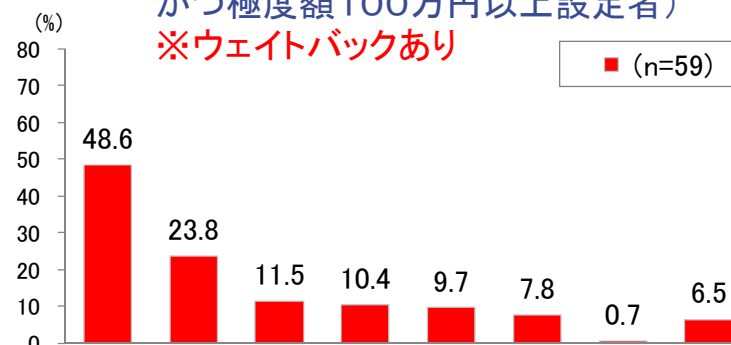
- 3年以内銀行カードローン利用経験者が、100万円以上の限度額を設定した理由は、「限度額が大きいと金利が低い」が15.0%と最多。68.4%は限度額100万円以上の設定はしていない。(図表48)
- 3年以内銀行カードローン利用経験者で、限度額100万円以上設定者のうち、限度額上限まで使用した理由は、「生活費不足の補填」が23.8%で最多。48.6%は限度額上限までは利用していない。(図表49)

【図表48】 銀行カードローン100万円以上の極度額設定理由(ベース:銀行カードローン3年以内利用経験者)※ウェイトバックあり



は極度額100万円以上の設定  
から極度額が大きいと金利が低い  
案があたりから  
銀行から極度額増加可能の提案  
多く確保したいから  
万が一に備えて借りられる額を  
あるから  
具体的な使い道・利用目的が  
ために必要だから  
他の借入れの返済に充当する  
その他

【図表49】 銀行カードローン極度額上限まで使用理由(ベース:銀行カードローン3年以内利用経験者かつ極度額100万円以上設定者)※ウェイトバックあり



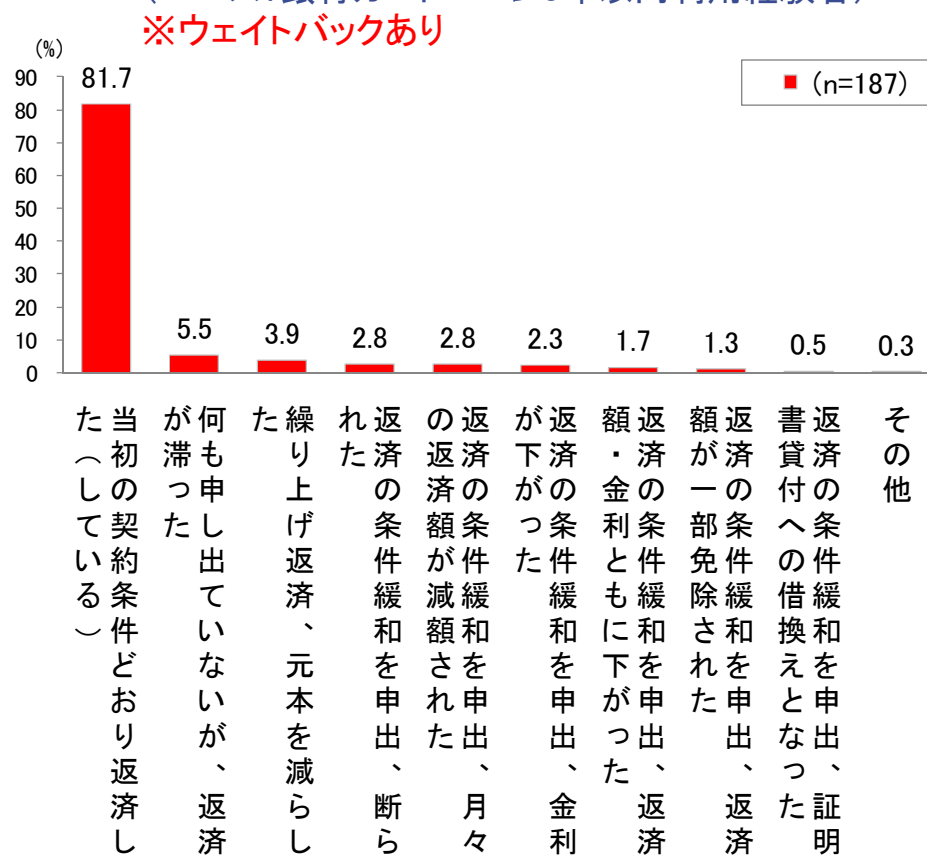
利用していない  
極度額の上限いっぱいまでは  
生活を補うため  
生活費(光熱水費を含む)不足  
収入が不足しているから  
払いが当たり前  
遊興費等を銀行カードローン  
せりボ払いの為に総額を意識  
たから  
急な事情でお金が必要になっ  
その他  
特に理由はない

## IV. 調査結果のまとめ

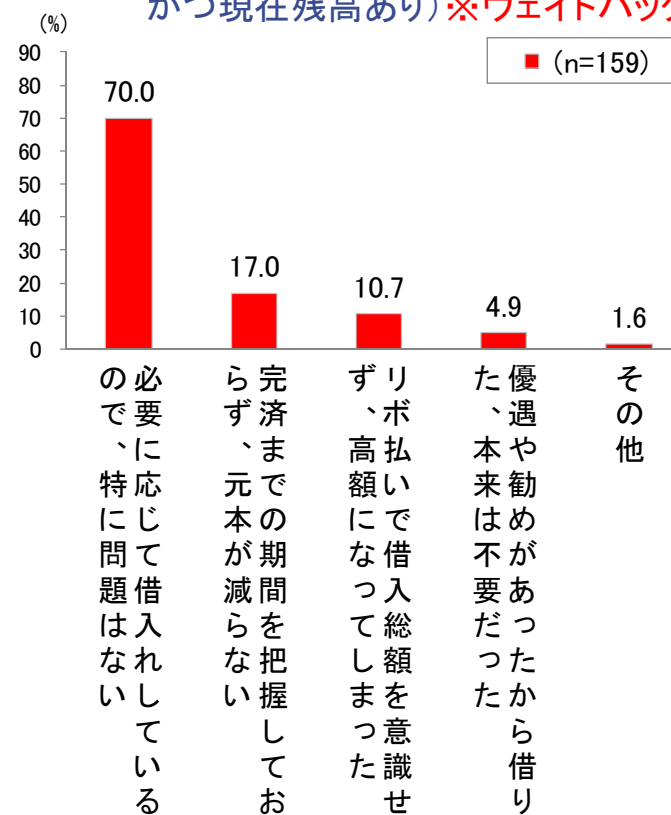
### 銀行カードローン利用者の借入等の状況

- 3年以内銀行カードローン利用経験者のうち、当初の契約条件どおり返済した(している)者は81.7%。(図表50)
- 3年以内銀行カードローン利用経験者のうち、現在も銀行カードローンの残高がある者の残高への意識は、「必要に応じて借入れしているので、特に問題はない」が70.0%で最多。(図表51)

【図表50】銀行カードローン返済状況  
(ベース:銀行カードローン3年以内利用経験者)



【図表51】銀行カードローン残高への認識  
(ベース:銀行カードローン3年以内利用経験者かつ現在残高あり) ※ウェイトバックあり

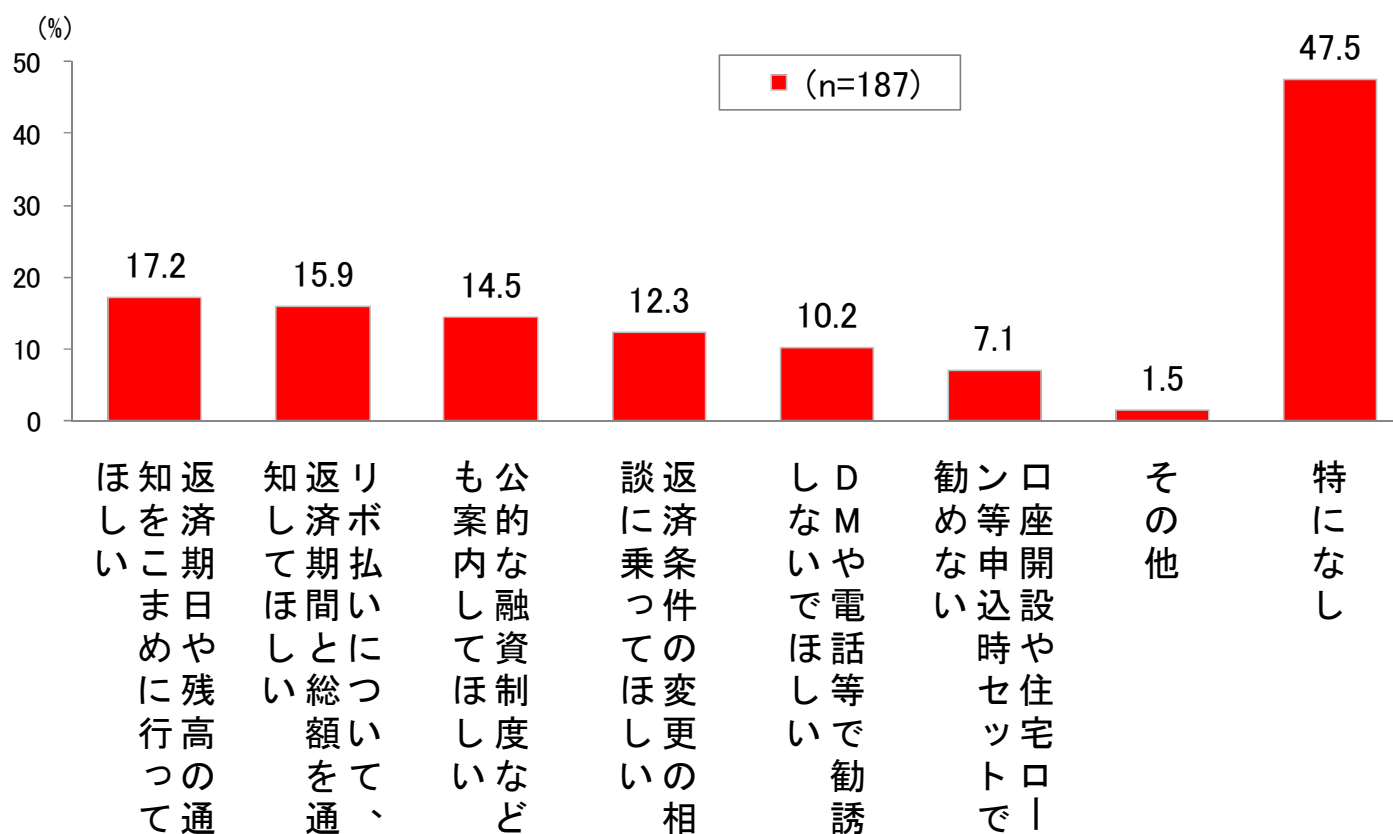


## IV. 調査結果のまとめ

### 銀行カードローン利用者の借入等の状況

■ 3年以内銀行カードローン利用経験者が、銀行のカードローンに期待することは、「返済期日や残高の通知をこまめに行ってほしい」が17.2%で最多。(図表52)

【図表52】銀行のカードローンに期待する事  
(ベース: 銀行カードローン3年以内利用経験者) ※ウェイトバックあり





## Create Consumer-centric Values

お客様企業のマーケティングに寄り添い、共に生活者の幸せを実現する

株式会社インテージ